

## 【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2025年6月9日提出
【発行者名】	三菱UFJアセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 横川 直
【本店の所在の場所】	東京都港区東新橋一丁目9番1号
【事務連絡者氏名】	伊藤 晃
【電話番号】	03-4223-3037
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	国際インド債券オープン（毎月決算型）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】	1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

## 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2024年12月9日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）について有価証券報告書の提出に伴う関係情報の更新等および信託期間延長に伴う所要の変更を行うため、本訂正届出書を提出します。

## 2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部\_\_は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は原届出書の更新後の内容を示します。

なお、「第二部 ファンド情報 第1 ファンド状況 5 運用状況」、「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況」は原届出書の更新後の内容を記載します。

## 第二部【ファンド情報】

### 第1【ファンドの状況】

#### 1【ファンドの性格】

##### (1)【ファンドの目的及び基本的性格】

<更新後>

当ファンドは、ファミリーファンド方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。

信託金の限度額は、2,000億円です。

\* 委託会社は、受託会社と合意のうえ、信託金の限度額を変更することができます。

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会が定める商品の分類方法において、以下の商品分類および属性区分に該当します。

商品分類表

単位型・追加型の別	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉となる資産)
単位型投信	国 内	株 式
	海 外	債 券
追加型投信	内 外	不動産投信
		その他資産
		資産複合

(注)該当する部分を網掛け表示しています。

該当する商品分類の定義について

追加型投信	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいう。
海 外	目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
債 券	目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。

属性区分表

投資対象資産 (実際の組入資産)	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ

株式 一般 大型株 中小型株	年1回	グローバル		
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性	年2回 年4回 年6回（隔月） 年12回（毎月） 日々	日本 北米 欧州 アジア オセアニア	ファミリーファンド	あり
不動産投信	その他	中南米 アフリカ 中近東（中東）	ファンド・オブ・ファンズ	
その他資産 (投資信託証券 (債券 一般))		エマージング		なし
資産複合				

（注）該当する部分を網掛け表示しています。

#### 該当する属性区分の定義について

その他資産 (投資信託証券 (債券 一般))	投資信託証券（マザーファンド）を通じて、主として、債券（一般 <sup>*</sup> ）に投資する。 *一般とは、公債 <sup>*1</sup> 、社債 <sup>*2</sup> 、その他債券 <sup>*3</sup> 属性にあてはまらない全てのものをいう。
年12回（毎月）	目論見書又は投資信託約款において、年12回（毎月）決算する旨の記載があるものをいう。
アジア	目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
ファミリーファンド	目論見書又は投資信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。）を投資対象として投資するものをいう。
為替ヘッジなし	目論見書又は投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるもの又は為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいう。

\* 1 公債・・・・目論見書又は投資信託約款において、日本国又は各国の政府の発行する国債（地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含む。）に主として投資する旨の記載があるものをいう。

\* 2 社債・・・・目論見書又は投資信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいう。

\* 3 その他債券・・・・目論見書又は投資信託約款において、公債又は社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいう。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<https://www.toushin.or.jp/>）でご覧いただけます。

## [ ファンドの目的・特色 ]

### ファンドの目的

安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ファンドの特色

特色1

インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象とします。

#### ■ 当ファンドの主要投資対象

	インドの公社債	国際機関債
概要	<p>国債、政府機関債、社債等をいいます。</p> <p>※社債については、インドの企業が発行する社債のほか、次のものを含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・インドの企業が原則として100%出資する企業(以下「子会社」といいます。)が発行する社債</li><li>・子会社が原則として100%出資する企業(当該企業も子会社とみなします。)が発行する社債</li></ul>	<p>国の枠組みに関わらず設立された国際機関が発行する債券をいいます。</p>
発行体の所在地	<p>インド</p> <p>※子会社については、インド内に限りません。</p>	世界各国

- ◆ 債券の組入比率は、原則として高位を保ちます。
  - ◆ インド・ルピー建債券のほか、米ドル建債券にも投資します。
    - 米ドル建債券に投資した場合には、原則として、実質的にインド・ルピー建となるように為替取引を行います。
- 重大な投資環境の変化が生じた場合には、信託財産の保全の観点から、委託会社の判断により主要投資対象への投資を大幅に縮小する場合があります。

特色2

債券からの安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を目指します。

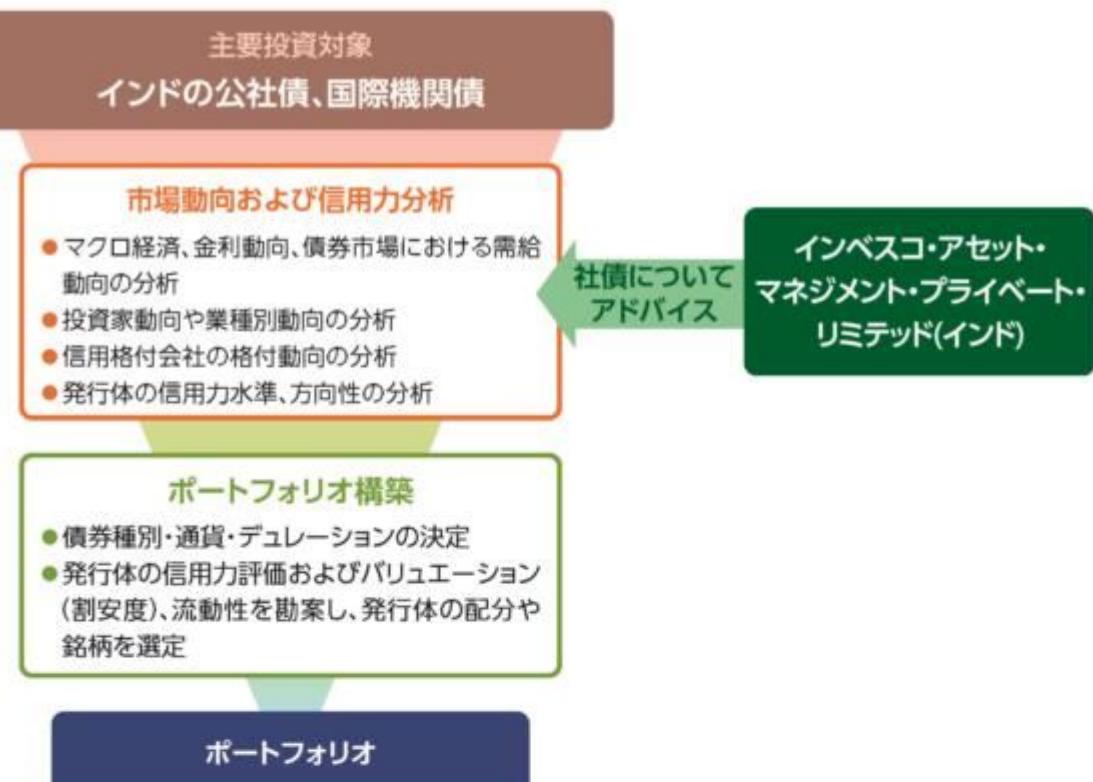
- ◆ インドの公社債を中心に投資を行いますが、流動性・信用力等を考慮し、国際機関債にも投資を行います。

※外国機関投資家がインドの債券市場においてインド・ルピー建の公社債に投資を行う場合、投資ライセンス等を取得する必要があるほか、その他の規制がかかる場合があります。また、インド・ルピー建の公社債への投資においては、インカム・ゲインやキャピタル・ゲインに対して課税される場合があります。なお、投資規制ならびに税制は今後変更される場合があります。(2025年3月末現在)

投資可能枠の獲得状況や利用状況、インドの債券市場における取引規制の変更等によっては、当ファンドの国際機関債への投資割合が高くなる場合があります。

また、市況動向・資金動向等によっても、国際機関債への投資割合が高くなる場合があります。
  - ◆ 原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
  - ◆ 社債については、インベスコ・アセット・マネジメント・プライベート・リミテッド(インド)のアドバイスを受け、運用を行います。
- インベスコ・アセット・マネジメント・プライベート・リミテッド(インド)は、インドに拠点を置く資産運用会社です。

## ■運用プロセスのイメージ



※上記は銘柄選定の視点／着眼点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成績等を示唆・保証するものではありません。上記プロセスは、今後変更されることがあります。

＊委託会社に関する「運用担当者に係る事項」については、委託会社のホームページでご覧いただけます。  
([https://www.am.mufg.jp/investment\\_policy/fm.html](https://www.am.mufg.jp/investment_policy/fm.html))

特色  
3

毎月決算を行い、収益の分配を行います。

◆毎月10日(休業日のは場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

### 収益分配方針

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。
- 原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、安定した分配を継続することをめざします。  
(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。また、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。)



上記はイメージ図であり、将来の収益分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

## 収益分配金に関する留意事項

- ◆分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



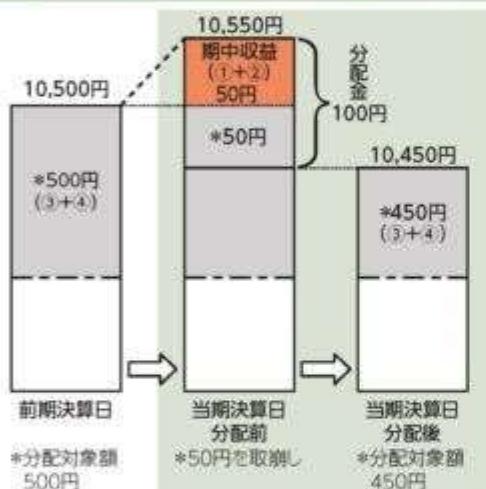
- ◆分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。

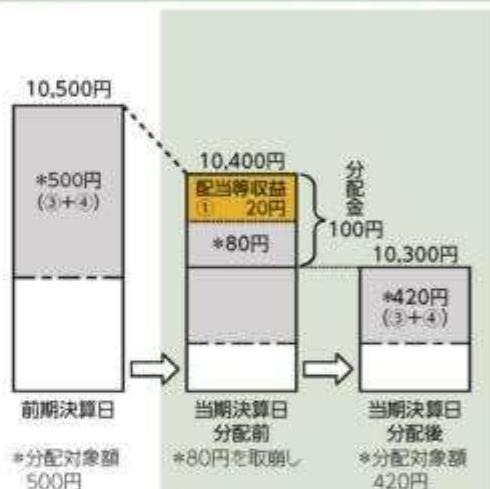
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算日から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算日から基準価額が下落した場合



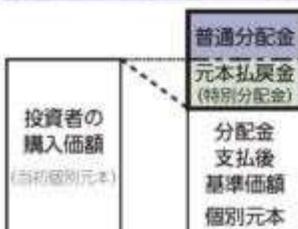
\*上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

分配準備積立金:当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかったりの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金:追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようするために設けられた勘定です。

- ◆投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



\*元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合

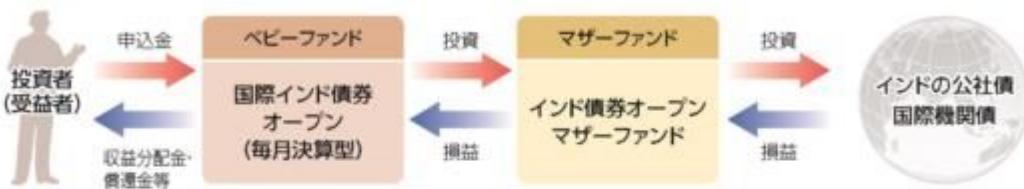


普通分配金:個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金):個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## ■ ファンドのしくみ

ファミリーファンド方式により運用を行います。



ファミリーファンド方式とは、受益者から投資された資金をまとめた投資信託をベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、マザーファンドにおいて実質的な運用を行う仕組みです。

## ■ 主な投資制限

マザーファンドへの投資	マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。
社債への投資	社債への実質投資割合は、取得時において、当ファンドの純資産総額の60%以内とします。
同一企業が発行する社債への投資	同一企業が発行する社債への実質投資割合は、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。
外貨建資産への投資	外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

### (2) 【ファンドの沿革】

<訂正前>

2011年12月16日 証券投資信託契約締結、設定、運用開始  
2015年7月1日 ファンドの委託会社としての業務を国際投信投資顧問株式会社から  
三菱UFJ国際投信株式会社に承継  
2020年6月10日 信託期間を2021年8月10日までから2026年8月10日までに変更

<訂正後>

2011年12月16日 証券投資信託契約締結、設定、運用開始  
2015年7月1日 ファンドの委託会社としての業務を国際投信投資顧問株式会社から  
三菱UFJ国際投信株式会社に承継  
2020年6月10日 信託期間を2021年8月10日までから2026年8月10日までに変更  
2025年6月10日 信託期間を2026年8月10日までから2031年8月8日までに変更

### (3) 【ファンドの仕組み】

<訂正前>

#### 委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。

委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱に関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。
-------------------------------------	---

## 委託会社の概況（2024年9月末現在）

・金融商品取引業者登録番号	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
・設立年月日	1985年8月1日
・資本金	2,000百万円
・沿革	
1997年5月	東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始
2004年10月	東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
2005年10月	三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱UFJ投信株式会社に変更
2015年7月	三菱UFJ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱UFJ国際投信株式会社に変更
2023年10月	エム・ユー投資顧問株式会社の有価証券運用事業を三菱UFJ国際投信株式会社へ統合し、商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更

## ・大株主の状況

株主名	住所	所有株式数	所有比率
株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	211,581株	100.0%

## &lt;訂正後&gt;

## 委託会社と関係法人との契約の概要

概要	
委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。
委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱に関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。

## 委託会社の概況（2025年3月末現在）

・金融商品取引業者登録番号	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
・設立年月日	1985年8月1日
・資本金	2,000百万円
・沿革	
1997年5月	東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始
2004年10月	東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
2005年10月	三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱UFJ投信株式会社に変更

2015年7月	三菱UFJ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を 三菱UFJ国際投信株式会社に変更
2023年10月	エム・ユー投資顧問株式会社の有価証券運用事業を三菱UFJ国際投 信株式会社へ統合し、商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会 社に変更

#### ・大株主の状況

株主名	住所	所有株式数	所有比率
株式会社三菱UFJフィナ ンシャル・グループ	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	211,581株	100.0%

### 3 【投資リスク】

<更新後>

#### (1) 投資リスク

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

(主なリスクであり、以下に限定されるものではありません。)

#### 為替変動リスク

ファンドは、実質的にインド・ルピー建資産（米ドル建資産については、原則として、実質的にインド・ルピー建となるように為替取引を行います。）に投資します。そのため、インド・ルピーが円に対して強く（円安に）なればファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く（円高に）なればファンドの基準価額の下落要因となります。

#### 金利変動リスク

投資している債券の発行通貨の金利水準が上昇（低下）した場合には、一般的に債券価格は下落（上昇）し、ファンドの基準価額の変動要因となります。ファンドは、インド・ルピー建および米ドル建の債券に投資を行うため、インドおよび米国の金利の変動の影響を受けます。また、組入債券の残存期間や利率等も価格変動に影響を与えます。例えば、金利水準の低下を見込んで残存期間が長い債券の組入比率を大きくしている場合等には、金利変動に対する債券価格の感応度が高くなり、ファンドの基準価額の変動は大きくなります。

#### 信用リスク（デフォルト・リスク）

発行体の債務返済能力等の変化等による格付け（信用度）の変更や変更の可能性等により債券価格が大きく変動し、ファンドの基準価額も大きく変動する場合があります。

また、投資している有価証券等の発行会社の倒産、財務状況または信用状況の悪化等の影響により、ファンドの基準価額は下落し、損失を被ることがあります。

一般的に、新興国が発行する債券は、先進国が発行する債券と比較して、デフォルト（債務不履行および支払遅延）が生じるリスクが高いと考えられます。デフォルトが生じた場合または予想される場合には、債券価格は大きく下落する可能性があります。なお、このような場合には、流動性が大幅に低下し、機動的な売買が行えないことがあります。

#### 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは購入しようとする際に、買い需要がなく売却不可能、あるいは売り供給がなく購入不可能等となるリスクのことをいいます。例えば、市況動向や有価証券等の流通量等の状況、あるいはファンドの解約金額の規模によっては、組入有価証券等

を市場実勢より低い価格で売却しなければならないケースが考えられ、この場合にはファンドの基準価額の下落要因となります。

一般的に、新興国の債券は、高格付けの債券と比較して市場規模や証券取引量が小さく、投資環境によっては機動的な売買が行えないことがあります。社債は、国債と比較して市場規模が小さく流動性が低い傾向にあるため、投資環境によってはより機動的な売買が行えないことがあります。

#### カントリー・リスク

債券の発行国・地域の政治や経済、社会情勢等の変化（カントリー・リスク）により金融・証券市場が混乱して、債券価格が大きく変動する可能性があります。

新興国のカントリー・リスクとしては主に以下の点が挙げられます。

- a . 先進国と比較して経済が一般的に脆弱であると考えられ、経済成長率やインフレ率等の経済状況が著しく変化する可能性があります。
- b . 政治不安や社会不安、他国との外交関係の悪化により海外からの投資に対する規制導入等の可能性があります。
- c . 海外との資金移動に関する規制導入等の可能性があります。
- d . 先進国とは情報開示に係る制度や慣習等が異なる場合があります。

この結果、新興国債券への投資が著しく悪影響を受ける可能性があります。

#### ファミリーファンド方式による基準価額変動リスク

同じマザーファンドに投資する他のファンドの資金動向による影響を受け、ファンドの基準価額が変動することがあります。

#### カウンターパーティー・リスク（取引相手先の決済不履行リスク）

証券取引、為替取引、直物為替先渡取引等の相対取引においては、取引相手先の決済不履行リスクが伴います。

#### その他の主な留意点

- a . 外国機関投資家がインドの債券市場においてインド・ルピー建の公社債に投資を行う場合、投資ライセンス等を取得する必要があるほか、その他の規制がかかる場合があります。また、インド・ルピー建の公社債への投資においては、インカム・ゲインやキャピタル・ゲインに対して課税される場合があります。

なお、投資規制ならびに税制は今後変更される場合があります。（2025年3月末現在）

投資可能枠の獲得状況や利用状況、インドの債券市場における取引規制の変更等によっては、ファンドの国際機関債への投資割合が高くなる場合があります。

また、市況動向・資金動向等によっても、国際機関債への投資割合が高くなる場合があります。

- b . ファンドでは、外国為替予約取引と類似する直物為替先渡取引（NDF）を利用する場合があります。直物為替先渡取引（NDF）の取引価格は、外国為替予約取引とは異なり、需給や当該通貨に対する期待等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、基準価額の値動きは、実際の当該通貨の為替市場の値動きから想定されるものと大きく乖離する場合があります。

- c . 委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情（投資対象国・地域における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等の場合をいいます。）による市場の閉鎖または流動性の極端な低下および資金の受渡しに関する障害等）が発生したとき等には、取得申込みの受付を中止することおよびすでに受けた取得の申込みの受付を取消すことならびに換金請求の受付を中止することおよびすでに受けた換金請求の受付を取消すことがあります。

- d . 受益権の総口数が当初設定に係る受益権総口数の10分の1または10億口を下ることになった場合等には、信託期間中であっても償還されることがあります。

- e . 法令、税制および会計制度等は、今後変更される可能性があります。
- f . ファンドの資金管理を円滑に行うため、原則として1日1件5億円を超える換金は行えないものとします。また、市況動向等により、これ以外にも大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
- g . 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクリングオフ）の適用はありません。
- h . 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てる必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

## （2）投資リスクに対する管理体制

委託会社では、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行い、ファンド管理委員会およびリスク管理委員会においてそれらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を検討しています。

また、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策を策定し流動性リスクの評価と管理プロセスの検証などを行います。リスク管理委員会は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

具体的な、投資リスクに対するリスク管理体制は以下の通りです。

### コンプライアンス担当部署

法令上の禁止行為、約款の投資制限等のモニタリングを通じ、法令等遵守のための管理態勢の状況を把握・管理し、必要に応じて改善の指導を行います。

### リスク管理担当部署

運用リスク全般の状況をモニタリング・管理するとともに、運用実績の分析および評価を行い、必要に応じて改善策等を提言します。また、事務・情報資産・その他のリスクの統括的管理を行っています。

### 内部監査担当部署

委託会社のすべての業務から独立した立場より、リスク管理体制の適切性および有効性について評価を行い、改善策の提案等を通して、リスク管理機能の維持・向上をはかります。

\*組織変更等により、前記の名称および内容は変更となる場合があります。

## ■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

### ● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移 (2020年4月末～2025年3月末)



### ● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2020年4月末～2025年3月末)



- ・基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとして計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- ・年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ・ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

### 代表的な資産クラスの指数について

資産クラス	指数名	注記等
日本株	東証株価指数(TOPIX) (配当込み)	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX(新規又は株式会社JPX新規の関連会社)以下「JPX」というの知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み)	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	NOMURA-BPI(国債)とは、野村フィデューシャリーリサーチ＆コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債バフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(聯合)のサブインデックスです。当該指標の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指標の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指標を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)	FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨・販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

## 4 【手数料等及び税金】

### (5) 【課税上の取扱い】

<更新後>

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。  
個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

## 1. 収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、総合課税（配当控除は適用されません。）・申告分離課税を選択することもできます。

## 2. 解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に「NISA（少額投資非課税制度）」の適用対象となります。ファンドは、NISAの対象ではありません。

## 法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

## 個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

## 収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

上記は2025年3月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## (参考情報) ファンドの総経費率

直近の運用報告書作成対象期間(以下「当期間」といいます。)(2024年9月11日～2025年3月10日)における当ファンドの総経費率は以下の通りです。

総経費率(①+②)	①運用管理費用の比率	②その他費用の比率
1.76%	1.65%	0.11%

(比率は年率、表示桁数未満四捨五入)

※当期間の運用・管理にかかった費用の総額(原則として購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。消費税等のかかるものは消費税等を含む。)を当期間の平均受益権口数に平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除しています。

詳細につきましては、当期間の運用報告書(全体版)をご覧ください。

## 5 【運用状況】

### 【国際インド債券オープン(毎月決算型)】

#### (1) 【投資状況】

2025年 3月31日現在

(単位:円)

資産の種類	国 / 地域	時価合計	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	6,585,477,477	99.70
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		19,886,936	0.30
純資産総額		6,605,364,413	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

#### (2) 【投資資産】

##### 【投資有価証券の主要銘柄】

###### a 評価額上位30銘柄

2025年 3月31日現在

国 / 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	インド債券オープン マザーファン	2,260,176,915	2.7866	6,298,208,992	2.9137	6,585,477,477	99.70

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

###### b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

2025年 3月31日現在

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	99.70
合計	99.70

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

##### 【投資不動産物件】

該当事項はありません。

##### 【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（3）【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および2025年3月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

		純資産総額		基準価額 (1万口当たりの純資産価額)	
		(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第40計算期間末日	(2015年 4月10日)	1,347,844,946	1,364,218,343	13,171	13,331
第41計算期間末日	(2015年 5月11日)	1,844,317,050	1,867,731,625	12,603	12,763
第42計算期間末日	(2015年 6月10日)	2,634,745,333	2,667,453,231	12,889	13,049
第43計算期間末日	(2015年 7月10日)	3,397,860,418	3,440,883,585	12,636	12,796
第44計算期間末日	(2015年 8月10日)	3,947,363,418	3,996,800,704	12,775	12,935
第45計算期間末日	(2015年 9月10日)	4,102,276,927	4,158,325,165	11,711	11,871
第46計算期間末日	(2015年10月13日)	4,542,474,112	4,602,861,536	12,036	12,196
第47計算期間末日	(2015年11月10日)	4,867,305,978	4,932,581,983	11,930	12,090
第48計算期間末日	(2015年12月10日)	5,569,734,913	5,646,861,010	11,555	11,715
第49計算期間末日	(2016年 1月12日)	5,901,955,572	5,986,459,225	11,175	11,335
第50計算期間末日	(2016年 2月10日)	5,759,162,466	5,846,673,454	10,530	10,690
第51計算期間末日	(2016年 3月10日)	5,836,300,281	5,926,373,598	10,367	10,527
第52計算期間末日	(2016年 4月11日)	6,133,503,568	6,230,732,585	10,093	10,253
第53計算期間末日	(2016年 5月10日)	6,277,338,436	6,377,682,475	10,009	10,169
第54計算期間末日	(2016年 6月10日)	6,527,468,163	6,614,105,193	9,795	9,925
第55計算期間末日	(2016年 7月11日)	6,322,872,765	6,412,464,562	9,175	9,305
第56計算期間末日	(2016年 8月10日)	6,603,908,617	6,696,282,257	9,294	9,424
第57計算期間末日	(2016年 9月12日)	6,816,223,043	6,910,765,439	9,373	9,503
第58計算期間末日	(2016年10月11日)	7,004,106,438	7,100,190,888	9,476	9,606
第59計算期間末日	(2016年11月10日)	7,236,764,002	7,335,292,865	9,548	9,678
第60計算期間末日	(2016年12月12日)	7,579,341,261	7,676,086,805	10,185	10,315
第61計算期間末日	(2017年 1月10日)	7,596,365,519	7,694,522,452	10,061	10,191
第62計算期間末日	(2017年 2月10日)	8,228,266,747	8,337,891,312	9,758	9,888
第63計算期間末日	(2017年 3月10日)	9,429,360,175	9,555,203,058	9,741	9,871
第64計算期間末日	(2017年 4月10日)	9,959,926,389	10,093,011,081	9,729	9,859
第65計算期間末日	(2017年 5月10日)	10,527,916,375	10,667,904,110	9,777	9,907
第66計算期間末日	(2017年 6月12日)	11,231,207,798	11,381,868,543	9,691	9,821
第67計算期間末日	(2017年 7月10日)	12,338,175,989	12,501,163,451	9,841	9,971
第68計算期間末日	(2017年 8月10日)	14,083,562,655	14,274,063,087	9,611	9,741
第69計算期間末日	(2017年 9月11日)	15,011,950,754	15,220,219,721	9,370	9,500
第70計算期間末日	(2017年10月10日)	17,109,546,175	17,347,680,044	9,340	9,470
第71計算期間末日	(2017年11月10日)	18,521,511,495	18,779,270,282	9,341	9,471
第72計算期間末日	(2017年12月11日)	19,688,167,455	19,963,947,210	9,281	9,411
第73計算期間末日	(2018年 1月10日)	20,081,479,766	20,368,156,894	9,106	9,236
第74計算期間末日	(2018年 2月13日)	19,196,802,610	19,490,379,435	8,501	8,631

第75計算期間末日	(2018年 3月12日)	18,332,936,419	18,627,506,398	8,091	8,221
第76計算期間末日	(2018年 4月10日)	18,868,779,171	19,169,137,677	8,167	8,297
第77計算期間末日	(2018年 5月10日)	18,408,786,252	18,712,931,737	7,868	7,998
第78計算期間末日	(2018年 6月11日)	18,102,548,229	18,412,153,482	7,601	7,731
第79計算期間末日	(2018年 7月10日)	18,002,456,135	18,314,630,657	7,497	7,627
第80計算期間末日	(2018年 8月10日)	18,018,751,320	18,334,082,547	7,428	7,558
第81計算期間末日	(2018年 9月10日)	17,027,714,037	17,345,773,012	6,960	7,090
第82計算期間末日	(2018年10月10日)	16,708,170,381	16,879,972,278	6,808	6,878
第83計算期間末日	(2018年11月12日)	16,744,622,122	16,910,878,668	7,050	7,120
第84計算期間末日	(2018年12月10日)	16,945,507,842	17,110,566,148	7,186	7,256
第85計算期間末日	(2019年 1月10日)	16,298,297,365	16,462,377,794	6,953	7,023
第86計算期間末日	(2019年 2月12日)	16,261,106,969	16,424,312,354	6,975	7,045
第87計算期間末日	(2019年 3月11日)	16,417,208,831	16,579,195,292	7,094	7,164
第88計算期間末日	(2019年 4月10日)	16,418,274,085	16,578,489,701	7,173	7,243
第89計算期間末日	(2019年 5月10日)	15,893,779,338	16,053,238,924	6,977	7,047
第90計算期間末日	(2019年 6月10日)	16,156,650,854	16,316,740,683	7,065	7,135
第91計算期間末日	(2019年 7月10日)	16,490,937,784	16,650,822,590	7,220	7,290
第92計算期間末日	(2019年 8月13日)	15,183,606,644	15,341,586,599	6,728	6,798
第93計算期間末日	(2019年 9月10日)	15,403,937,966	15,563,259,244	6,768	6,838
第94計算期間末日	(2019年10月10日)	15,526,222,734	15,629,195,894	6,785	6,830
第95計算期間末日	(2019年11月11日)	15,239,111,928	15,339,601,653	6,824	6,869
第96計算期間末日	(2019年12月10日)	14,825,368,135	14,923,691,112	6,785	6,830
第97計算期間末日	(2020年 1月10日)	14,614,524,157	14,710,573,880	6,847	6,892
第98計算期間末日	(2020年 2月10日)	14,255,528,931	14,349,200,655	6,848	6,893
第99計算期間末日	(2020年 3月10日)	12,526,123,115	12,615,428,084	6,312	6,357
第100計算期間末日	(2020年 4月10日)	11,994,505,049	12,081,505,542	6,204	6,249
第101計算期間末日	(2020年 5月11日)	12,103,967,316	12,190,518,420	6,293	6,338
第102計算期間末日	(2020年 6月10日)	12,322,011,632	12,407,939,959	6,453	6,498
第103計算期間末日	(2020年 7月10日)	12,319,129,551	12,404,182,142	6,518	6,563
第104計算期間末日	(2020年 8月11日)	12,079,292,678	12,163,497,680	6,455	6,500
第105計算期間末日	(2020年 9月10日)	11,963,353,485	12,045,874,073	6,524	6,569
第106計算期間末日	(2020年10月12日)	11,840,688,531	11,922,444,987	6,517	6,562
第107計算期間末日	(2020年11月10日)	11,448,342,255	11,528,849,097	6,399	6,444
第108計算期間末日	(2020年12月10日)	11,043,772,883	11,122,017,415	6,351	6,396
第109計算期間末日	(2021年 1月12日)	10,821,329,108	10,897,724,632	6,374	6,419
第110計算期間末日	(2021年 2月10日)	10,468,257,522	10,542,630,731	6,334	6,379
第111計算期間末日	(2021年 3月10日)	10,484,538,198	10,557,764,306	6,443	6,488
第112計算期間末日	(2021年 4月12日)	10,164,722,014	10,236,047,495	6,413	6,458
第113計算期間末日	(2021年 5月10日)	10,099,860,396	10,170,310,435	6,451	6,496
第114計算期間末日	(2021年 6月10日)	9,671,445,045	9,738,218,030	6,518	6,563
第115計算期間末日	(2021年 7月12日)	9,159,006,266	9,223,916,356	6,350	6,395
第116計算期間末日	(2021年 8月10日)	9,015,132,255	9,079,320,489	6,320	6,365
第117計算期間末日	(2021年 9月10日)	8,819,825,239	8,881,965,179	6,387	6,432

第118計算期間末日	(2021年10月11日)	8,581,268,261	8,641,972,616	6,361	6,406
第119計算期間末日	(2021年11月10日)	8,433,281,273	8,492,150,144	6,446	6,491
第120計算期間末日	(2021年12月10日)	7,982,408,958	8,038,999,127	6,348	6,393
第121計算期間末日	(2022年 1月11日)	8,012,259,246	8,067,773,030	6,495	6,540
第122計算期間末日	(2022年 2月10日)	7,768,100,090	7,823,089,023	6,357	6,402
第123計算期間末日	(2022年 3月10日)	7,521,983,124	7,576,472,560	6,212	6,257
第124計算期間末日	(2022年 4月11日)	7,827,243,885	7,880,275,708	6,642	6,687
第125計算期間末日	(2022年 5月10日)	7,642,405,540	7,694,375,976	6,617	6,662
第126計算期間末日	(2022年 6月10日)	7,967,893,959	8,020,983,661	6,754	6,799
第127計算期間末日	(2022年 7月11日)	7,836,055,480	7,888,355,353	6,742	6,787
第128計算期間末日	(2022年 8月10日)	7,669,758,487	7,721,583,598	6,660	6,705
第129計算期間末日	(2022年 9月12日)	8,021,161,697	8,072,334,632	7,054	7,099
第130計算期間末日	(2022年10月11日)	7,551,088,042	7,600,875,260	6,825	6,870
第131計算期間末日	(2022年11月10日)	7,601,163,837	7,650,384,345	6,949	6,994
第132計算期間末日	(2022年12月12日)	6,992,504,582	7,041,163,756	6,467	6,512
第133計算期間末日	(2023年 1月10日)	6,706,736,712	6,755,367,220	6,206	6,251
第134計算期間末日	(2023年 2月10日)	6,670,538,269	6,719,156,683	6,174	6,219
第135計算期間末日	(2023年 3月10日)	6,795,954,146	6,844,296,326	6,326	6,371
第136計算期間末日	(2023年 4月10日)	6,745,335,928	6,793,901,714	6,250	6,295
第137計算期間末日	(2023年 5月10日)	6,895,505,444	6,944,129,659	6,382	6,427
第138計算期間末日	(2023年 6月12日)	7,015,005,104	7,063,403,412	6,522	6,567
第139計算期間末日	(2023年 7月10日)	7,077,625,214	7,125,887,668	6,599	6,644
第140計算期間末日	(2023年 8月10日)	7,173,514,154	7,222,379,093	6,606	6,651
第141計算期間末日	(2023年 9月11日)	7,315,407,980	7,364,608,840	6,691	6,736
第142計算期間末日	(2023年10月10日)	7,299,740,990	7,348,961,420	6,674	6,719
第143計算期間末日	(2023年11月10日)	7,415,523,319	7,464,626,345	6,796	6,841
第144計算期間末日	(2023年12月11日)	6,960,729,251	7,008,883,862	6,505	6,550
第145計算期間末日	(2024年 1月10日)	6,988,041,031	7,036,173,799	6,533	6,578
第146計算期間末日	(2024年 2月13日)	7,255,664,290	7,303,840,318	6,777	6,822
第147計算期間末日	(2024年 3月11日)	7,101,607,648	7,149,566,183	6,664	6,709
第148計算期間末日	(2024年 4月10日)	7,476,353,468	7,525,623,736	6,828	6,873
第149計算期間末日	(2024年 5月10日)	7,528,304,742	7,577,077,393	6,946	6,991
第150計算期間末日	(2024年 6月10日)	7,620,441,491	7,669,357,140	7,010	7,055
第151計算期間末日	(2024年 7月10日)	7,683,488,079	7,731,440,941	7,210	7,255
第152計算期間末日	(2024年 8月13日)	6,995,239,728	7,043,101,498	6,577	6,622
第153計算期間末日	(2024年 9月10日)	6,848,374,870	6,896,232,680	6,439	6,484
第154計算期間末日	(2024年10月10日)	7,109,924,047	7,157,746,899	6,690	6,735
第155計算期間末日	(2024年11月11日)	7,083,542,233	7,130,701,936	6,759	6,804
第156計算期間末日	(2024年12月10日)	6,924,007,754	6,971,004,092	6,630	6,675
第157計算期間末日	(2025年 1月10日)	7,010,432,659	7,056,919,100	6,786	6,831
第158計算期間末日	(2025年 2月10日)	6,538,559,168	6,584,591,661	6,392	6,437
第159計算期間末日	(2025年 3月10日)	6,358,957,717	6,404,945,718	6,222	6,267
	2024年 3月末日	7,478,679,622		6,858	

4月末日	7,590,919,096	6,991	
5月末日	7,610,585,086	7,024	
6月末日	7,685,524,352	7,225	
7月末日	7,304,521,112	6,840	
8月末日	6,953,951,611	6,532	
9月末日	6,865,363,548	6,455	
10月末日	7,230,662,006	6,865	
11月末日	6,947,213,607	6,642	
12月末日	7,080,408,451	6,850	
2025年 1月末日	6,795,023,965	6,607	
2月末日	6,481,519,481	6,339	
3月末日	6,605,364,413	6,499	

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第40計算期間	160円
第41計算期間	160円
第42計算期間	160円
第43計算期間	160円
第44計算期間	160円
第45計算期間	160円
第46計算期間	160円
第47計算期間	160円
第48計算期間	160円
第49計算期間	160円
第50計算期間	160円
第51計算期間	160円
第52計算期間	160円
第53計算期間	160円
第54計算期間	130円
第55計算期間	130円
第56計算期間	130円
第57計算期間	130円
第58計算期間	130円
第59計算期間	130円
第60計算期間	130円
第61計算期間	130円
第62計算期間	130円
第63計算期間	130円
第64計算期間	130円
第65計算期間	130円
第66計算期間	130円
第67計算期間	130円

第68計算期間	130円
第69計算期間	130円
第70計算期間	130円
第71計算期間	130円
第72計算期間	130円
第73計算期間	130円
第74計算期間	130円
第75計算期間	130円
第76計算期間	130円
第77計算期間	130円
第78計算期間	130円
第79計算期間	130円
第80計算期間	130円
第81計算期間	130円
第82計算期間	70円
第83計算期間	70円
第84計算期間	70円
第85計算期間	70円
第86計算期間	70円
第87計算期間	70円
第88計算期間	70円
第89計算期間	70円
第90計算期間	70円
第91計算期間	70円
第92計算期間	70円
第93計算期間	70円
第94計算期間	45円
第95計算期間	45円
第96計算期間	45円
第97計算期間	45円
第98計算期間	45円
第99計算期間	45円
第100計算期間	45円
第101計算期間	45円
第102計算期間	45円
第103計算期間	45円
第104計算期間	45円
第105計算期間	45円
第106計算期間	45円
第107計算期間	45円
第108計算期間	45円
第109計算期間	45円
第110計算期間	45円

第111計算期間	45円
第112計算期間	45円
第113計算期間	45円
第114計算期間	45円
第115計算期間	45円
第116計算期間	45円
第117計算期間	45円
第118計算期間	45円
第119計算期間	45円
第120計算期間	45円
第121計算期間	45円
第122計算期間	45円
第123計算期間	45円
第124計算期間	45円
第125計算期間	45円
第126計算期間	45円
第127計算期間	45円
第128計算期間	45円
第129計算期間	45円
第130計算期間	45円
第131計算期間	45円
第132計算期間	45円
第133計算期間	45円
第134計算期間	45円
第135計算期間	45円
第136計算期間	45円
第137計算期間	45円
第138計算期間	45円
第139計算期間	45円
第140計算期間	45円
第141計算期間	45円
第142計算期間	45円
第143計算期間	45円
第144計算期間	45円
第145計算期間	45円
第146計算期間	45円
第147計算期間	45円
第148計算期間	45円
第149計算期間	45円
第150計算期間	45円
第151計算期間	45円
第152計算期間	45円
第153計算期間	45円

第154計算期間	45円
第155計算期間	45円
第156計算期間	45円
第157計算期間	45円
第158計算期間	45円
第159計算期間	45円

【収益率の推移】

	収益率(%)
第40計算期間	1.00
第41計算期間	3.09
第42計算期間	3.53
第43計算期間	0.72
第44計算期間	2.36
第45計算期間	7.07
第46計算期間	4.14
第47計算期間	0.44
第48計算期間	1.80
第49計算期間	1.90
第50計算期間	4.34
第51計算期間	0.02
第52計算期間	1.09
第53計算期間	0.75
第54計算期間	0.83
第55計算期間	5.00
第56計算期間	2.71
第57計算期間	2.24
第58計算期間	2.48
第59計算期間	2.13
第60計算期間	8.03
第61計算期間	0.05
第62計算期間	1.71
第63計算期間	1.15
第64計算期間	1.21
第65計算期間	1.82
第66計算期間	0.45
第67計算期間	2.88
第68計算期間	1.01
第69計算期間	1.15
第70計算期間	1.06
第71計算期間	1.40
第72計算期間	0.74
第73計算期間	0.48

第74計算期間	5.21
第75計算期間	3.29
第76計算期間	2.54
第77計算期間	2.06
第78計算期間	1.74
第79計算期間	0.34
第80計算期間	0.81
第81計算期間	4.55
第82計算期間	1.17
第83計算期間	4.58
第84計算期間	2.92
第85計算期間	2.26
第86計算期間	1.32
第87計算期間	2.70
第88計算期間	2.10
第89計算期間	1.75
第90計算期間	2.26
第91計算期間	3.18
第92計算期間	5.84
第93計算期間	1.63
第94計算期間	0.91
第95計算期間	1.23
第96計算期間	0.08
第97計算期間	1.57
第98計算期間	0.67
第99計算期間	7.16
第100計算期間	0.99
第101計算期間	2.15
第102計算期間	3.25
第103計算期間	1.70
第104計算期間	0.27
第105計算期間	1.76
第106計算期間	0.58
第107計算期間	1.12
第108計算期間	0.04
第109計算期間	1.07
第110計算期間	0.07
第111計算期間	2.43
第112計算期間	0.23
第113計算期間	1.29
第114計算期間	1.73
第115計算期間	1.88
第116計算期間	0.23

第117計算期間	1.77
第118計算期間	0.29
第119計算期間	2.04
第120計算期間	0.82
第121計算期間	3.02
第122計算期間	1.43
第123計算期間	1.57
第124計算期間	7.64
第125計算期間	0.30
第126計算期間	2.75
第127計算期間	0.48
第128計算期間	0.54
第129計算期間	6.59
第130計算期間	2.60
第131計算期間	2.47
第132計算期間	6.28
第133計算期間	3.34
第134計算期間	0.20
第135計算期間	3.19
第136計算期間	0.49
第137計算期間	2.83
第138計算期間	2.89
第139計算期間	1.87
第140計算期間	0.78
第141計算期間	1.96
第142計算期間	0.41
第143計算期間	2.50
第144計算期間	3.61
第145計算期間	1.12
第146計算期間	4.42
第147計算期間	1.00
第148計算期間	3.13
第149計算期間	2.38
第150計算期間	1.56
第151計算期間	3.49
第152計算期間	8.15
第153計算期間	1.41
第154計算期間	4.59
第155計算期間	1.70
第156計算期間	1.24
第157計算期間	3.03
第158計算期間	5.14
第159計算期間	1.95

(注)「収益率」とは、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額)を控除した額を当該基準価額(分配落の額)で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

(4)【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第40計算期間	437,057,861	46,614,386	1,023,337,323
第41計算期間	452,973,346	12,899,709	1,463,410,960
第42計算期間	617,108,382	36,275,667	2,044,243,675
第43計算期間	672,075,907	27,371,613	2,688,947,969
第44計算期間	420,430,423	19,547,977	3,089,830,415
第45計算期間	475,494,669	62,310,180	3,503,014,904
第46計算期間	332,020,783	60,821,647	3,774,214,040
第47計算期間	428,929,745	123,393,446	4,079,750,339
第48計算期間	845,577,182	104,946,432	4,820,381,089
第49計算期間	667,746,604	206,649,344	5,281,478,349
第50計算期間	437,162,998	249,204,564	5,469,436,783
第51計算期間	333,274,669	173,129,098	5,629,582,354
第52計算期間	561,644,190	114,412,971	6,076,813,573
第53計算期間	349,253,453	154,564,565	6,271,502,461
第54計算期間	603,071,889	210,187,368	6,664,386,982
第55計算期間	400,098,305	172,808,555	6,891,676,732
第56計算期間	348,520,566	134,532,641	7,105,664,657
第57計算期間	273,713,505	106,886,136	7,272,492,026
第58計算期間	232,542,557	113,922,992	7,391,111,591
第59計算期間	340,736,282	152,704,491	7,579,143,382
第60計算期間	483,650,853	620,829,305	7,441,964,930
第61計算期間	713,899,597	605,331,176	7,550,533,351
第62計算期間	1,150,328,733	268,203,208	8,432,658,876
第63計算期間	1,407,390,479	159,827,514	9,680,221,841
第64計算期間	770,703,607	213,641,434	10,237,284,014
第65計算期間	681,835,977	150,832,642	10,768,287,349
第66計算期間	1,155,382,396	334,381,610	11,589,288,135
第67計算期間	1,220,777,427	272,568,485	12,537,497,077
第68計算期間	2,355,152,013	238,769,664	14,653,879,426
第69計算期間	1,604,798,220	237,987,852	16,020,689,794
第70計算期間	2,733,216,023	435,915,862	18,317,989,955
第71計算期間	1,814,677,568	305,068,498	19,827,599,025
第72計算期間	1,716,576,177	330,347,871	21,213,827,331
第73計算期間	1,453,542,117	615,282,634	22,052,086,814
第74計算期間	1,211,951,962	681,206,014	22,582,832,762
第75計算期間	592,122,220	515,725,804	22,659,229,178
第76計算期間	665,610,684	220,339,388	23,104,500,474
第77計算期間	589,265,025	297,958,895	23,395,806,604
第78計算期間	964,855,325	544,873,189	23,815,788,740

第79計算期間	819,022,120	621,386,029	24,013,424,831
第80計算期間	685,229,219	442,405,773	24,256,248,277
第81計算期間	672,394,296	462,567,527	24,466,075,046
第82計算期間	683,173,164	606,119,941	24,543,128,269
第83計算期間	180,694,386	972,887,452	23,750,935,203
第84計算期間	352,200,990	523,378,183	23,579,758,010
第85計算期間	300,893,962	440,590,620	23,440,061,352
第86計算期間	359,856,161	484,862,478	23,315,055,035
第87計算期間	242,427,190	416,559,093	23,140,923,132
第88計算期間	522,655,640	775,633,551	22,887,945,221
第89計算期間	339,087,980	447,092,264	22,779,940,937
第90計算期間	354,515,628	264,480,988	22,869,975,577
第91計算期間	412,509,474	441,798,440	22,840,686,611
第92計算期間	392,900,394	665,021,949	22,568,565,056
第93計算期間	364,295,671	172,678,136	22,760,182,591
第94計算期間	407,293,875	284,551,961	22,882,924,505
第95計算期間	250,112,916	801,987,230	22,331,050,191
第96計算期間	125,433,765	606,933,324	21,849,550,632
第97計算期間	168,337,083	673,504,661	21,344,383,054
第98計算期間	86,806,559	615,250,834	20,815,938,779
第99計算期間	74,631,511	1,045,021,430	19,845,548,860
第100計算期間	74,444,374	586,550,286	19,333,442,948
第101計算期間	56,258,715	156,122,812	19,233,578,851
第102計算期間	89,582,030	227,976,890	19,095,183,991
第103計算期間	81,246,590	275,854,600	18,900,575,981
第104計算期間	115,770,178	304,123,449	18,712,222,710
第105計算期間	83,810,234	458,124,431	18,337,908,513
第106計算期間	71,927,176	241,734,318	18,168,101,371
第107計算期間	55,186,616	332,878,540	17,890,409,447
第108計算期間	73,262,256	575,997,875	17,387,673,828
第109計算期間	63,314,697	474,205,332	16,976,783,193
第110計算期間	74,806,966	524,210,375	16,527,379,784
第111計算期間	139,927,270	394,838,452	16,272,468,602
第112計算期間	98,813,248	521,174,749	15,850,107,101
第113計算期間	77,777,655	272,320,375	15,655,564,381
第114計算期間	86,105,433	903,228,506	14,838,441,308
第115計算期間	149,426,975	563,403,814	14,424,464,469
第116計算期間	60,819,539	221,231,978	14,264,052,030
第117計算期間	61,789,688	516,966,105	13,808,875,613
第118計算期間	85,471,440	404,490,350	13,489,856,703
第119計算期間	51,379,600	459,264,905	13,081,971,398
第120計算期間	53,821,203	560,199,275	12,575,593,326
第121計算期間	72,554,657	311,751,371	12,336,396,612

第122計算期間	67,023,602	183,657,293	12,219,762,921
第123計算期間	106,844,986	217,844,154	12,108,763,753
第124計算期間	58,942,009	382,856,195	11,784,849,567
第125計算期間	54,517,393	290,381,046	11,548,985,914
第126計算期間	396,147,671	147,421,857	11,797,711,728
第127計算期間	58,134,225	233,651,943	11,622,194,010
第128計算期間	71,234,496	176,736,993	11,516,691,513
第129計算期間	54,817,119	199,745,092	11,371,763,540
第130計算期間	121,274,274	429,211,454	11,063,826,360
第131計算期間	74,268,747	200,204,327	10,937,890,780
第132計算期間	144,814,024	269,554,951	10,813,149,853
第133計算期間	107,707,861	114,078,014	10,806,779,700
第134計算期間	154,853,400	157,541,053	10,804,092,047
第135計算期間	106,539,899	167,925,195	10,742,706,751
第136計算期間	162,806,624	113,116,457	10,792,396,918
第137計算期間	123,972,004	110,987,679	10,805,381,243
第138計算期間	137,588,714	187,790,295	10,755,179,662
第139計算期間	153,449,145	183,638,917	10,724,989,890
第140計算期間	280,284,462	146,398,973	10,858,875,379
第141計算期間	165,984,774	91,335,513	10,933,524,640
第142計算期間	191,074,361	186,725,471	10,937,873,530
第143計算期間	118,742,761	144,832,514	10,911,783,777
第144計算期間	128,287,760	339,046,778	10,701,024,759
第145計算期間	171,928,116	176,782,187	10,696,170,688
第146計算期間	196,337,076	186,723,576	10,705,784,188
第147計算期間	216,586,482	264,918,411	10,657,452,259
第148計算期間	473,356,314	181,860,079	10,948,948,494
第149計算期間	92,780,506	203,361,979	10,838,367,021
第150計算期間	327,068,576	295,291,330	10,870,144,267
第151計算期間	154,171,602	368,124,287	10,656,191,582
第152計算期間	157,420,727	177,663,359	10,635,948,950
第153計算期間	77,136,266	78,016,299	10,635,068,917
第154計算期間	95,772,429	103,540,792	10,627,300,554
第155計算期間	154,140,175	301,506,597	10,479,934,132
第156計算期間	115,087,390	151,390,675	10,443,630,847
第157計算期間	134,121,289	247,431,882	10,330,320,254
第158計算期間	75,447,229	176,324,484	10,229,442,999
第159計算期間	68,406,514	78,293,598	10,219,555,915

(参考)

インド債券オープン マザーファンド

投資状況

資産の種類	国 / 地域	時価合計	投資比率(%)
国債証券	インド	9,293,567,060	36.37
特殊債券	インド	4,043,405,203	15.82
	アメリカ	1,617,903,221	6.33
小計		5,661,308,424	22.15
社債券	インド	4,796,006,362	18.77
	アメリカ	4,665,596,691	18.26
小計		9,461,603,053	37.02
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		1,138,760,869	4.46
純資産総額		25,555,239,406	100.00

(注)投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

## 投資資産

### 投資有価証券の主要銘柄

#### a 評価額上位30銘柄

2025年 3月31日現在

国 / 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (%)	償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
インド	国債証券	7.3 INDIA GOVT 530619	2,900,000,000	182.98	5,306,628,799	185.06	5,366,804,449	7.300000	2053/6/19	21.00
インド	国債証券	9.23 INDIA GOVT 431223	500,000,000	217.90	1,089,534,160	220.12	1,100,644,160	9.230000	2043/12/23	4.31
インド	国債証券	8.17 INDIA GOVT 441201	500,000,000	198.81	994,052,400	201.13	1,005,696,560	8.170000	2044/12/1	3.94
インド	国債証券	7.46 INDIA GOVT 731106	500,000,000	186.05	930,290,240	188.31	941,565,680	7.460000	2073/11/6	3.68
インド	特殊債券	7.83 IND RAIL F 270319	500,000,000	177.82	889,135,280	178.08	890,418,320	7.830000	2027/3/21	3.48
アメリカ	特殊債券	5.5 EX-IM BK IND 330118	5,800,000	15,040.81	872,367,062	15,171.87	879,968,471	5.500000	2033/1/18	3.44
アメリカ	社債券	3.35 POWER FIN 310516	6,300,000	13,360.43	841,707,336	13,488.68	849,787,164	3.350000	2031/5/16	3.33
アメリカ	社債券	3.25 BHARTI AIR 310603	6,000,000	13,364.10	801,846,529	13,605.78	816,346,922	3.250000	2031/6/3	3.19
インド	社債券	7.9 RELIANCE P 261118	400,000,000	176.58	706,354,176	176.56	706,257,024	7.900000	2026/11/18	2.76
インド	社債券	7.3 POWER GRID 270619	400,000,000	176.08	704,323,840	176.41	705,651,584	7.300000	2027/6/19	2.76
アメリカ	社債券	3.9 POWER FIN 290916	3,700,000	14,116.93	522,326,710	14,212.48	525,861,817	3.900000	2029/9/16	2.06
アメリカ	社債券	2.875 RELIANCE IN 320112	3,600,000	12,802.73	460,898,522	12,988.57	467,588,724	2.875000	2032/1/12	1.83
インド	特殊債券	7.2 NABARD 311021	250,000,000	176.41	441,039,280	176.86	442,158,200	7.200000	2031/10/21	1.73
インド	社債券	7.95 HDFC BANK LT 260921	250,000,000	176.31	440,787,600	176.56	441,403,600	7.950000	2026/9/21	1.73
インド	国債証券	8.13 INDIA GOVT 450622	200,000,000	199.80	399,608,000	201.87	403,744,000	8.130000	2045/6/22	1.58
アメリカ	社債券	5.625 RURAL ELEC 280411	2,600,000	15,135.90	393,533,650	15,215.63	395,606,432	5.625000	2028/4/11	1.55
インド	特殊債券	8.11 EX-IM BK IND 310711	200,000,000	184.70	369,412,736	184.75	369,515,168	8.110000	2031/7/11	1.45

インド	特殊債券	7.74 EX-IM BK IND 370526	200,000,000	183.63	367,261,312	183.89	367,799,168	7.740000	2037/5/26	1.44
インド	特殊債券	7.69 NABARD 320331	200,000,000	179.85	359,705,632	180.32	360,656,736	7.690000	2032/3/31	1.41
インド	社債券	7.95 RURAL ELEC 270312	200,000,000	177.90	355,810,400	178.28	356,568,608	7.950000	2027/3/12	1.40
インド	社債券	8.4 CHOLAMANDALAM 280809	200,000,000	176.82	353,650,880	176.99	353,995,840	8.400000	2028/8/9	1.39
インド	特殊債券	7.27 IND RAIL F 270615	200,000,000	175.94	351,897,568	176.41	352,832,832	7.270000	2027/6/15	1.38
アメリカ	社債券	5.125 STATE IND/L 291125	2,300,000	14,972.35	344,364,179	15,015.25	345,350,783	5.125000	2029/11/25	1.35
アメリカ	特殊債券	3.249 IND RAIL F 300213	2,500,000	13,640.66	341,016,665	13,800.52	345,013,239	3.249000	2030/2/13	1.35
アメリカ	特殊債券	3.25 EX-IM BK IND 300115	2,400,000	13,689.04	328,537,142	13,856.74	332,561,833	3.250000	2030/1/15	1.30
アメリカ	社債券	7.125 MUTHOOT FIN 280214	2,100,000	15,210.31	319,416,575	15,188.88	318,966,669	7.125000	2028/2/14	1.25
インド	特殊債券	7.55 IND RAIL F 291106	150,000,000	178.11	267,170,904	179.26	268,904,592	7.550000	2029/11/6	1.05
インド	社債券	8 BAJAJ FINANCE L 260227	150,000,000	176.22	264,343,200	176.55	264,838,464	8.000000	2026/2/27	1.04
インド	社債券	7.47 ICICI BANK 270625	150,000,000	175.66	263,500,776	176.01	264,029,304	7.470000	2027/6/25	1.03
アメリカ	社債券	3.625 RELIANCE IN 520112	2,250,000	10,468.10	235,532,253	10,335.73	232,554,109	3.625000	2052/1/12	0.91

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

## b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

2025年 3月31日現在

種類	投資比率(%)
国債証券	36.37
特殊債券	22.15
社債券	37.02
合計	95.54

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

## 投資不動産物件

該当事項はありません。

## その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

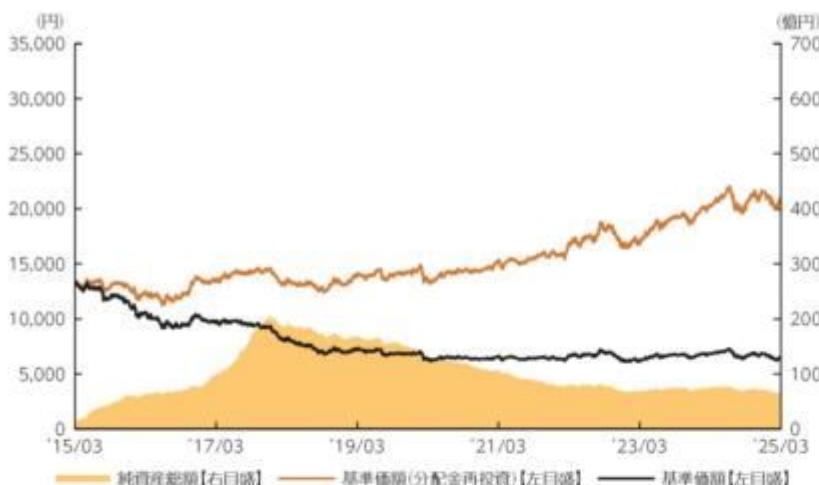
## 参考情報



## 運用実績

2025年3月31日現在

■ 基準価額・純資産の推移 2015年3月31日～2025年3月31日



- ・基準価額(分配金再投資)はグラフの起点における基準価額に合わせて指数化

- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は運用報酬(信託報酬)控除後です。

### ■ 基準価額・純資産

基 準 価 額 6,499円  
純 資 産 総 額 66.0億円

- ・純資産総額は表示桁未満切捨て

## ■ 分配の推移

2025年3月	45円
2025年2月	45円
2025年1月	45円
2024年12月	45円
2024年11月	45円
2024年10月	45円
直近1年間累計	540円
設定来累計	12,710円

・分配金は1万口当たり、税引前

## ■ 主要な資産の状況

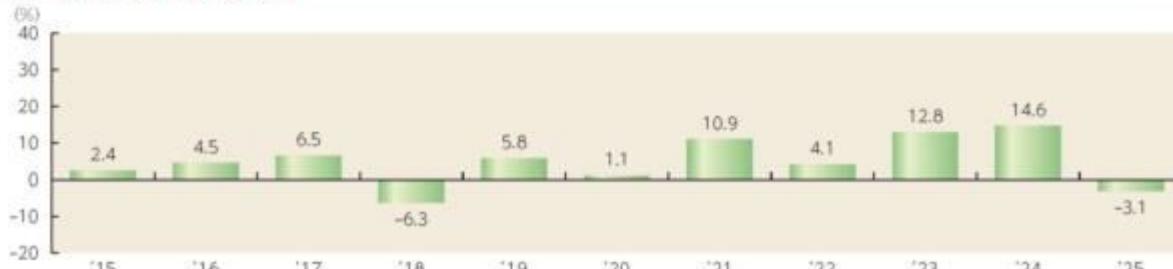
組入上位銘柄	種別	比率
1 7.3 INDIA GOVT 530619	国債	20.9%
2 9.23 INDIA GOVT 431223	国債	4.3%
3 8.17 INDIA GOVT 441201	国債	3.9%
4 7.46 INDIA GOVT 731106	国債	3.7%
5 7.83 IND RAIL F 270319	特殊債	3.5%
6 5.5 EX-IM BK IND 330118	特殊債	3.4%
7 3.35 POWER FIN 310516	社債	3.3%
8 3.25 BHARTI AIR 310603	社債	3.2%
9 7.9 RELIANCE P 261118	社債	2.8%
10 7.3 POWER GRID 270619	社債	2.8%

・各比率はファンドの純資産額額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)

- ・社債には政府の出資比率が50%を超えてる企業の発行する債券が含まれています。

- ・コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

### ■ 年間収益率の推移



#### • 收益率指基準期(分配金再投資)下計算

・2025年は年初から3月31日までの収益率を表示

・ファンドにペンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

## 第2【管理及び運営】

### 3 【資産管理等の概要】

#### （3）【信託期間】

<訂正前>

2026年8月10日まで（2011年12月16日設定）

ただし、後記「ファンドの償還条件等」の規定によりファンドを償還させることができます。

また、委託会社は、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めたときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長することができます。

<訂正後>

2031年8月8日まで（2011年12月16日設定）

ただし、後記「ファンドの償還条件等」の規定によりファンドを償還させることができます。

また、委託会社は、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めたときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長することができます。

### 第3【ファンドの経理状況】

- 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。  
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- 毎月決算ファンドの計算期間は6カ月未満であるため、財務諸表は6カ月毎に作成しております。
- 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期（2024年9月11日から2025年3月10日まで）の財務諸表について、PwC Japan有限責任監査法人により監査を受けております。

### 1【財務諸表】

#### 【国際インド債券オープン（毎月決算型）】

##### （1）【貸借対照表】

	前期 [ 2024年 9月10日現在 ]	当期 [ 2025年 3月10日現在 ]	(単位：円)
<strong>資産の部</strong>			
流動資産			
コール・ローン	83,501,327	72,799,512	
親投資信託受益証券	6,827,964,926	6,339,782,943	
未収入金	10,922,160	7,877,923	
未収利息	503	937	
流動資産合計	6,922,388,916	6,420,461,315	
資産合計	6,922,388,916	6,420,461,315	
<strong>負債の部</strong>			
流動負債			
未払収益分配金	47,857,810	45,988,001	
未払解約金	17,294,799	7,211,870	
未払受託者報酬	235,678	220,845	
未払委託者報酬	8,602,201	8,060,805	
その他未払費用	23,558	22,077	
流動負債合計	74,014,046	61,503,598	
負債合計	74,014,046	61,503,598	
<strong>純資産の部</strong>			
元本等			
元本	10,635,068,917	10,219,555,915	
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（）	3,786,694,047	3,860,598,198	
（分配準備積立金）	417,123,146	272,181,549	
元本等合計	6,848,374,870	6,358,957,717	
純資産合計	6,848,374,870	6,358,957,717	
負債純資産合計	6,922,388,916	6,420,461,315	

##### （2）【損益及び剰余金計算書】

	前期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日	当期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日
<b>営業収益</b>		
受取利息	16,404	43,153
有価証券売買等損益	113,952,827	125,042,786
営業収益合計	113,969,231	125,085,939
<b>営業費用</b>		
支払利息	19	-
受託者報酬	1,633,603	1,513,200
委託者報酬	59,626,329	55,231,721
その他費用	163,301	151,259
営業費用合計	61,423,252	56,896,180
営業利益又は営業損失( )	52,545,979	68,189,759
経常利益又は経常損失( )	52,545,979	68,189,759
当期純利益又は当期純損失( )	52,545,979	68,189,759
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額( )	1,587,864	3,457,855
期首余金又は期首次損金( )	3,555,844,611	3,786,694,047
剩余金増加額又は欠損金減少額	403,578,462	355,759,484
当期一部解約に伴う剩余金増加額又は欠損金減少額	403,578,462	355,759,484
剩余金減少額又は欠損金増加額	397,930,731	213,909,711
当期追加信託に伴う剩余金減少額又は欠損金増加額	397,930,731	213,909,711
分配金	290,631,010	280,485,828
期末余金又は期末欠損金( )	3,786,694,047	3,860,598,198

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	---

(重要な会計上の見積りに関する注記)

財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌特定期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

(貸借対照表に関する注記)

	前期 [2024年 9月10日現在]	当期 [2025年 3月10日現在]
1. 期首元本額	10,657,452,259円	10,635,068,917円
期中追加設定元本額	1,281,933,991円	642,975,026円
期中一部解約元本額	1,304,317,333円	1,058,488,028円
2. 元本の欠損 純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	3,786,694,047円	3,860,598,198円
3. 受益権の総数	10,635,068,917口	10,219,555,915口

(損益及び剩余金計算書に関する注記)

前期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日	当期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日
1. 分配金の計算過程 第148期 2024年 3月12日 2024年 4月10日	1. 分配金の計算過程 第154期 2024年 9月11日 2024年10月10日
項目	項目
費用控除後の配当等収益額	A
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B
収益調整金額	C
分配準備積立金額	D
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D
当ファンドの期末残存口数	F
36,800,855円	29,419,991円
94,104,877円	円
1,555,277,636円	1,535,768,333円
円	413,247,623円
1,686,183,368円	1,978,435,947円
10,948,948,494口	10,627,300,554口

前期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日			当期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日		
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,540円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,861円
1万口当たり分配金額	H	45円	1万口当たり分配金額	H	45円
収益分配金額	I=F*H/10,000	49,270,268円	収益分配金額	I=F*H/10,000	47,822,852円
第149期 2024年 4月11日 2024年 5月10日					
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	32,765,736円	費用控除後の配当等収益額	A	31,569,893円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	142,853,231円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	1,540,427,639円	収益調整金額	C	1,520,404,802円
分配準備積立金額	D	80,339,590円	分配準備積立金額	D	384,223,332円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,796,386,196円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,936,198,027円
当ファンドの期末残存口数	F	10,838,367,021口	当ファンドの期末残存口数	F	10,479,934,132口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,657円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,847円
1万口当たり分配金額	H	45円	1万口当たり分配金額	H	45円
収益分配金額	I=F*H/10,000	48,772,651円	収益分配金額	I=F*H/10,000	47,159,703円
第150期 2024年 5月11日 2024年 6月10日					
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	38,627,840円	費用控除後の配当等収益額	A	24,670,854円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	78,413,374円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	1,551,903,446円	収益調整金額	C	1,519,350,088円
分配準備積立金額	D	202,113,359円	分配準備積立金額	D	363,609,394円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,871,058,019円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,907,630,336円
当ファンドの期末残存口数	F	10,870,144,267口	当ファンドの期末残存口数	F	10,443,630,847口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,721円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,826円
1万口当たり分配金額	H	45円	1万口当たり分配金額	H	45円
収益分配金額	I=F*H/10,000	48,915,649円	収益分配金額	I=F*H/10,000	46,996,338円
第151期 2024年 6月11日 2024年 7月10日					
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	52,991,798円	費用控除後の配当等収益額	A	40,602,439円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	205,585,727円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	1,525,494,577円	収益調整金額	C	1,507,575,883円
分配準備積立金額	D	261,809,898円	分配準備積立金額	D	333,600,745円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,045,882,000円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,881,779,067円
当ファンドの期末残存口数	F	10,656,191,582口	当ファンドの期末残存口数	F	10,330,320,254口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,919円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,821円
1万口当たり分配金額	H	45円	1万口当たり分配金額	H	45円
収益分配金額	I=F*H/10,000	47,952,862円	収益分配金額	I=F*H/10,000	46,486,441円
第152期 2024年 7月11日 2024年 8月13日					
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	25,573,743円	費用控除後の配当等収益額	A	23,228,448円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	1,529,805,942円	収益調整金額	C	1,495,375,979円
分配準備積立金額	D	464,974,554円	分配準備積立金額	D	322,488,659円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,020,354,239円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,841,093,086円
当ファンドの期末残存口数	F	10,635,948,950口	当ファンドの期末残存口数	F	10,229,442,999口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,899円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,799円
1万口当たり分配金額	H	45円	1万口当たり分配金額	H	45円
収益分配金額	I=F*H/10,000	47,861,770円	収益分配金額	I=F*H/10,000	46,032,493円
第153期 2024年 8月14日 2024年 9月10日					
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	25,380,022円	費用控除後の配当等収益額	A	20,634,140円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	1,533,000,298円	収益調整金額	C	1,496,037,691円
分配準備積立金額	D	439,600,934円	分配準備積立金額	D	297,535,410円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,997,981,254円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,814,207,241円
当ファンドの期末残存口数	F	10,635,068,917口	当ファンドの期末残存口数	F	10,219,555,915口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,878円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,775円

前期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日			当期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日		
1万口当たり分配金額	H	45円	1万口当たり分配金額	H	45円
収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	47,857,810円	収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	45,988,001円

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

区分	前期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日	当期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」(昭和26年法律第198号)第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果はリスク管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。	同左

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	前期 [ 2024年 9月10日現在 ]	当期 [ 2025年 3月10日現在 ]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左  (2) デリバティブ取引 同左  (3) 上記以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	前期 [ 2024年 9月10日現在 ]	当期 [ 2025年 3月10日現在 ]
	最終計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	最終計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
親投資信託受益証券	88,771,751	118,528,257
合計	88,771,751	118,528,257

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）  
該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	前期 [ 2024年 9月10日現在 ]	当期 [ 2025年 3月10日現在 ]
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.6439円 (6,439円)	0.6222円 (6,222円)

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

(単位：円)				
種類	銘柄	口数	評価額	備考
親投資信託受益 証券	インド債券オープン マザーファンド	2,275,014,513	6,339,782,943	
	合計	2,275,014,513	6,339,782,943	

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考）

当ファンドの主要投資対象の状況は以下の通りです。

なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

インド債券オープン マザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

[ 2025年 3月10日現在 ]

資産の部

流動資産

預金	419,422,085
コール・ローン	272,139,148
国債証券	8,920,902,048
特殊債券	5,391,875,568
社債券	9,137,191,573
派生商品評価勘定	878,383
未収入金	85,000,000
未収利息	530,475,296
前払費用	8,460,401
差入委託証拠金	114,000,000
流動資産合計	24,880,344,502
資産合計	24,880,344,502

負債の部

流動負債

派生商品評価勘定	112,516,611
未払解約金	30,244,746
流動負債合計	142,761,357
負債合計	142,761,357

[ 2025年 3月10日現在 ]

純資産の部	
元本等	
元本	8,877,107,768
剰余金	
剰余金又は欠損金 ( )	15,860,475,377
元本等合計	24,737,583,145
純資産合計	24,737,583,145
負債純資産合計	24,880,344,502

## 注記表

### （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。 直物為替先渡取引は原則として価格情報会社の提供する価額で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

### （重要な会計上の見積りに関する注記）

財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

### （貸借対照表に関する注記）

	[2025年 3月10日現在]
1. 期首	2024年 9月11日
期首元本額	9,604,520,612円
期中追加設定元本額	228,651,182円
期中一部解約元本額	956,064,026円
元本の内訳	
インド債券オープン（毎月決算型）	4,985,951,165円
国際インド債券オープン（毎月決算型）	2,275,014,513円
インド債券オープン（年1回決算型）	1,616,142,090円
合計	8,877,107,768円
2. 受益権の総数	8,877,107,768口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

### （金融商品に関する注記）

#### 1 金融商品の状況に関する事項

区分	自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づいております。
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、公社債等に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク、為替リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 当ファンドは、外貨の決済のために為替予約取引を利用してあります。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動による市場リスクおよび信用リスク等を有しておりますが、ごく短期間で実際に外貨の受渡を伴うことから、為替相場の変動によるリスクは限定的であります。 当ファンドは、運用の効率化を図るために、直物為替先渡取引を利用してあります。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動による市場リスクおよび信用リスク等を有しております。 また、デリバティブ取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果はリスク管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。

#### 2 金融商品の時価等に関する事項

区分	[ 2025年 3月10日現在 ]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	( 1 ) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 ( 2 ) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。 ( 3 ) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	[ 2025年 3月10日現在 ]
	当期間の損益に含まれた評価差額(円)
国債証券	43,023,141
特殊債券	2,178,517
社債券	39,235,479
合計	1,609,145

(注)当期間の開始日は、当該親投資信託の期首日であります。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

通貨関連(直物為替先渡取引)

[ 2025年 3月10日現在 ]

区分	種類	契約額等(円)	時価(円)	評価損益(円)
			うち1年超	
市場取引以外の取引	直物為替先渡取引 買建 インドルピー	6,145,746,000	6,034,107,772	111,638,228
合計		6,145,746,000	6,034,107,772	111,638,228

(注)時価の算定方法

価格情報会社の提供する価額で評価しております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	[ 2025年 3月10日現在 ]
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	2.7867円 (27,867円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

(単位:円)

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考

アメリカ ドル	特殊債券	3.249 IND RAIL F 300213	2,500,000.00	2,314,913.87		
		3.25 EX-IM BK IND 300115	2,400,000.00	2,227,599.74		
		5.5 EX-IM BK IND 330118	5,800,000.00	5,908,622.40		
		5.5 EX-IM BK IND 350113	400,000.00	406,247.82		
	特殊債券 小計		11,100,000.00	10,857,383.83		
			(1,600,161,228)			
	社債券	2.8 ULTRATECH CEM 310216	1,600,000.00	1,411,224.46		
		2.875 RELIANCE IN 320112	3,600,000.00	3,115,804.68		
		3.25 BHARTI AIR 310603	6,000,000.00	5,435,086.44		
		3.35 POWER FIN 310516	6,300,000.00	5,715,423.00		
		3.375 ONGC VIDES 291205	1,200,000.00	1,126,567.84		
		3.625 RELIANCE IN 520112	2,250,000.00	1,583,673.84		
		3.9 POWER FIN 290916	3,700,000.00	3,536,682.00		
		3.95 POWER FIN 300423	600,000.00	570,268.12		
		5.125 STATE IND/L 291125	2,300,000.00	2,320,032.77		
		5.18 HDFC BANK LT 290215	400,000.00	405,348.28		
		5.625 RURAL ELEC 280411	2,600,000.00	2,651,103.83		
		6.25 RELIANCE IN 401019	250,000.00	269,305.18		
		6.375 MUTHOOT FIN 290423	1,000,000.00	998,211.01		
		7.125 MUTHOOT FIN 280214	2,100,000.00	2,153,509.55		
社債券 小計			33,900,000.00	31,292,241.00		
				(4,611,850,478)		
アメリカドル合計			45,000,000.00	42,149,624.83		
				(6,212,011,706)		
インドル ピー	国債証券	7.16 INDIA GOVT 500920	100,000,000.00	101,693,930.00		
		7.19 INDIA GOVT 600915	50,000,000.00	50,626,400.00		
		7.3 INDIA GOVT 530619	2,950,000,000.00	3,049,461,610.00		
		7.46 INDIA GOVT 731106	500,000,000.00	523,451,000.00		
		8.13 INDIA GOVT 450622	200,000,000.00	225,962,000.00		
		8.17 INDIA GOVT 441201	500,000,000.00	565,794,000.00		
		8.3 INDIA GOVT 400702	100,000,000.00	113,141,000.00		
		9.23 INDIA GOVT 431223	500,000,000.00	617,459,500.00		
国債証券 小計			4,900,000,000.00	5,247,589,440.00		
				(8,920,902,048)		
特殊債券	7.2 NABARD 311021	250,000,000.00	248,965,000.00			
	7.27 IND RAIL F 270615	200,000,000.00	199,203,800.00			
	7.55 IND RAIL F 291106	150,000,000.00	151,244,250.00			
	7.68 NABARD 290430	100,000,000.00	100,586,900.00			
	7.69 NABARD 320331	200,000,000.00	202,963,200.00			
	7.74 EX-IM BK IND 370526	200,000,000.00	207,188,600.00			
	7.83 IND RAIL F 270319	500,000,000.00	502,965,000.00			
	8.02 EX-IM BK IND 251029	100,000,000.00	100,036,100.00			
	8.11 EX-IM BK IND 310711	200,000,000.00	208,274,800.00			

8.2 NABARD 280316	100,000,000.00	102,094,700.00	
8.75 IND RAIL F 261129	100,000,000.00	102,040,200.00	
8.8 FOOD INDIA 280322	50,000,000.00	51,771,150.00	
8.87 EX-IM BK IND 291030	50,000,000.00	53,086,500.00	
特殊債券 小計	2,200,000,000.00	2,230,420,200.00	(3,791,714,340)
社債券	7.3 POWER GRID 270619	400,000,000.00	398,893,600.00
	7.4 RELIANCE IN 250425	50,000,000.00	49,936,700.00
	7.47 ICICI BANK 270625	150,000,000.00	149,180,700.00
	7.54 RURAL ELEC 261230	50,000,000.00	49,906,100.00
	7.55 POWER GRID 310921	50,000,000.00	50,727,050.00
	7.65 AXIS BANK/ 270130	50,000,000.00	49,910,400.00
	7.75 LIC HOUSIN 290823	100,000,000.00	100,258,500.00
	7.8 HDFC BANK LTD 330503	100,000,000.00	101,745,000.00
	7.835 LIC HOUSIN 270511	50,000,000.00	50,051,150.00
	7.9 HOUSING DE 260824	100,000,000.00	100,019,200.00
	7.9 RELIANCE P 261118	400,000,000.00	399,995,200.00
	7.95 HDFC BANK LT 260921	250,000,000.00	249,987,250.00
	7.95 RURAL ELEC 270312	200,000,000.00	201,542,200.00
	7.97 HDFC BANK LT 330217	100,000,000.00	102,725,600.00
	8 BAJAJ FINANCE L 260227	150,000,000.00	150,114,600.00
	8 LARSEN & TOUBRO 300423	50,000,000.00	51,374,250.00
	8.1432 LIC HOUSIN 260325	50,000,000.00	50,174,050.00
	8.2 POWER GRID 300123	50,000,000.00	51,880,400.00
	8.4 CHOLAMANDALAM 280809	200,000,000.00	200,826,000.00
	8.4 POWER GRID 300527	50,000,000.00	52,401,650.00
	8.45 HOUSING DE 260518	50,000,000.00	50,315,750.00
社債券 小計	2,650,000,000.00	2,661,965,350.00	(4,525,341,095)
インドルピー合計	9,750,000,000.00	10,139,974,990.00	(17,237,957,483)
合計		23,449,969,189	(23,449,969,189)

(注1)通貨の種類ごとの小計 / 合計欄の( )内は、邦貨換算額であります。

(注2)合計金額欄の( )内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

#### 外貨建有価証券の内訳

種類	銘柄数	組入債券時価比率	有価証券の合計金額に対する比率
アメリカドル	特殊債券 4銘柄	25.76%	6.82%
	社債券 14銘柄	74.24%	19.67%
インドルピー	国債証券 8銘柄	51.75%	38.04%
	特殊債券 13銘柄	22.00%	16.17%

社債券	21銘柄	26.25%	19.30%
-----	------	--------	--------

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。

## 2【ファンドの現況】

## 【国際インド債券オープン(毎月決算型)】

## 【純資産額計算書】

2025年 3月31日現在

(単位:円)

資産総額	6,623,288,139
負債総額	17,923,726
純資産総額( - )	6,605,364,413
発行済口数	10,163,802,153口
1口当たり純資産価額( / )	0.6499
(10,000口当たり)	(6,499)

(参考)

## インド債券オープン マザーファンド

## 純資産額計算書

2025年 3月31日現在

(単位:円)

資産総額	25,625,467,913
負債総額	70,228,507
純資産総額( - )	25,555,239,406
発行済口数	8,770,814,784口
1口当たり純資産価額( / )	2.9137
(10,000口当たり)	(29,137)

### 第三部【委託会社等の情報】

#### 第1【委託会社等の概況】

##### 1【委託会社等の概況】

<更新後>

###### (1) 資本金の額等

2025年3月末現在、資本金は2,000百万円です。なお、発行可能株式総数は400,000株であり、211,581株を発行済です。最近5年間における資本金の額の増減はありません。

###### (2) 委託会社の機構

###### ・会社の意思決定機構

業務執行の基本方針を決定し、取締役の職務の執行を監督する機関として、取締役会を設置します。取締役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席する株主総会にてその議決権の過半数をもって行い、累積投票によらないものとします。また、取締役会で決定した基本方針に基づき、経営管理全般に関する執行方針その他重要な事項を協議・決定する機関として、経営会議を設置します。

###### ・投資運用の意思決定機構

###### 投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

###### 運用戦略の決定

運用戦略・管理委員会において、で策定された投資環境見通しに沿って運用戦略を決定します。

###### 運用計画の決定

で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

###### ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

###### 運用部門による自律的な運用管理

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、運用部門内の管理担当部署は逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。また、運用戦略・管理委員会を通じて運用状況のモニタリングを行い、運用部門内での自律的牽制により運用改善を図ります。

###### 管理担当部署による運用管理

運用部から独立した管理担当部署は、(a)運用に関するパフォーマンス測定・分析のほか、(b)リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、(a)についてはファンド管理委員会を経て運用担当部・商品開発担当部にフィードバックされ、(b)についてはリスク管理委員会を通じて運用担当部にフィードバックされ、必要に応じて部署間連携の上では是正・改善の検討が行われます。

###### ファンドに関係する法人等の管理

受託会社等、ファンドの運営に関係する法人については、その業務に関する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この結果は、商品企画委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。

###### 運用・管理に関する監督

内部監査担当部署は、運用、管理等に関する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

## 2 【事業の内容及び営業の概況】

<更新後>

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）等を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業および投資助言業務を行っています。

2025年3月31日現在における委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

商品分類	本数 (本)	純資産総額 (百万円)
追加型株式投資信託	803	40,205,122
追加型公社債投資信託	16	1,489,273
単位型株式投資信託	82	356,306
単位型公社債投資信託	42	101,777
合計	943	42,152,478

なお、純資産総額の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して記載しておりますので、表中の個々の数字の合計と合計欄の数字とは一致しないことがあります。

## 3 【委託会社等の経理状況】

<更新後>

### （1）財務諸表及び中間財務諸表の作成方法について

委託会社である三菱UFJアセットマネジメント株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）」（以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、財務諸表等規則第282条及び第306条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

なお、財務諸表及び中間財務諸表に掲載している金額については、従来、千円未満の端数を切り捨てて表示しておりましたが、当中間会計期間より百万円未満の端数を切り捨てて表示することに変更しました。

### （2）監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第39期事業年度（自2023年4月1日至2024年3月31日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第40期事業年度に係る中間会計期間（自2024年4月1日至2024年9月30日）の中間財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより中間監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

(単位:千円)

	第38期 (2023年3月31日現在)	第39期 (2024年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2 51,733,041	2 58,206,340
有価証券	1,579,691	15,283
前払費用	770,747	679,199
未収入金	81,854	138,388
未収委託者報酬	16,753,855	21,064,747
未収収益	2 688,142	2 1,485,701
金銭の信託	10,400,000	10,500,500
その他	745,576	371,400
<b>流動資産合計</b>	<b>82,752,908</b>	<b>92,461,561</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	1 181,551	1 2,936,036
器具備品	1 730,357	1 1,531,857
土地	628,433	628,433
建設仮勘定	1,111,177	45,140
<b>有形固定資産合計</b>	<b>2,651,520</b>	<b>5,141,467</b>
<b>無形固定資産</b>		
電話加入権	15,822	15,822
ソフトウェア	4,183,644	5,008,987
ソフトウェア仮勘定	1,907,739	1,587,548
<b>無形固定資産合計</b>	<b>6,107,206</b>	<b>6,612,357</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	12,022,365	13,788,071
関係会社株式	159,536	159,536
投資不動産	1 807,066	1 1,788,120
長期差入保証金	689,492	689,867
前払年金費用	118,832	47,573
繰延税金資産	1,675,132	1,088,836
その他	45,230	45,230
貸倒引当金	23,600	23,600
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>15,494,056</b>	<b>17,583,636</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>24,252,782</b>	<b>29,337,461</b>
<b>資産合計</b>	<b>107,005,691</b>	<b>121,799,022</b>

(単位:千円)

	第38期 (2023年3月31日現在)	第39期 (2024年3月31日現在)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>		
預り金	507,559	807,451
未払金		
未払収益分配金	114,094	105,550
未払償還金	7,418	43,553

未払手数料	2	6,139,595	2	7,523,485
その他未払金	2	955,697	2	885,002
未払費用	2	5,778,896	2	8,611,140
未払消費税等		439,657		623,219
未払法人税等		2,375,281		2,235,007
賞与引当金		849,840		1,182,242
役員賞与引当金		154,872		175,992
その他		5,517		12,303
流動負債合計		17,328,431		22,204,949

#### 固定負債

退職給付引当金		1,333,882		1,608,101
役員退職慰労引当金		75,667		30,105
時効後支払損引当金		254,296		250,350
資産除去債務		-		1,428,586
その他		-		29,109
固定負債合計		1,663,846		3,346,253
負債合計		18,992,277		25,551,202

#### (純資産の部)

株主資本				
資本金		2,000,131		2,000,131
資本剰余金				
資本準備金		3,572,096		3,572,096
その他資本剰余金		41,160,616		41,160,616
資本剰余金合計		44,732,712		44,732,712
利益剰余金				
利益準備金		342,589		342,589
その他利益剰余金				
別途積立金		6,998,000		6,998,000
繰越利益剰余金		33,267,700		40,236,787
利益剰余金合計		40,608,289		47,577,377
株主資本合計		87,341,133		94,310,221

(単位:千円)

	第38期 (2023年3月31日現在)	第39期 (2024年3月31日現在)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	672,279	1,937,598
評価・換算差額等合計	672,279	1,937,598
純資産合計	88,013,413	96,247,820
負債純資産合計	107,005,691	121,799,022

#### (2) 【損益計算書】

(単位:千円)

	第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
--	---------------------------------------	---------------------------------------

<b>営業収益</b>				
委託者報酬	84,121,445			98,635,342
投資顧問料	2,750,601			3,117,320
その他営業収益	10,412			148,442
<b>営業収益合計</b>	<b>86,882,459</b>			<b>101,901,104</b>
<b>営業費用</b>				
支払手数料	4	31,461,274	4	34,494,219
広告宣伝費		798,894		593,586
公告費		375		1,017
調査費				
調査費		2,849,042		3,537,103
委託調査費		19,236,505		27,296,058
事務委託費		1,751,807		1,861,577
営業雑経費				
通信費		113,480		137,737
印刷費		367,379		390,143
協会費		58,128		68,869
諸会費		18,447		20,108
事務機器関連費		2,238,382		2,531,009
その他営業雑経費		-		139,012
<b>営業費用合計</b>		<b>58,893,717</b>		<b>71,070,444</b>
<b>一般管理費</b>				
<b>給料</b>				
役員報酬		416,461		400,592
給料・手当		6,565,766		7,202,711
賞与引当金繰入		849,840		1,182,242
役員賞与引当金繰入		154,872		175,992
福利厚生費		1,279,885		1,424,215
交際費		8,942		10,054
旅費交通費		75,274		108,782
租税公課		403,955		397,138
不動産賃借料		719,707		728,550
退職給付費用		388,176		381,449
固定資産減価償却費		2,418,341		2,469,755
諸経費		444,313		490,104
<b>一般管理費合計</b>		<b>13,725,534</b>		<b>14,971,590</b>
<b>営業利益</b>		<b>14,263,207</b>		<b>15,859,070</b>

(単位 : 千円)

第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日 )	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日 )
--	--

<b>営業外収益</b>			
受取配当金		47,353	54,618
受取利息	4	10,279	12,836
投資有価証券償還益		609,102	204,527
収益分配金等時効完成分		94,351	17,722
受取賃貸料	4	65,808	162,111
その他		36,894	44,734

営業外収益合計	863,788	496,550
営業外費用		
投資有価証券償還損	32,995	234,700
時効後支払損引当金繰入	31,951	-
事務過誤費	2,680	10,822
賃貸関連費用	14,262	108,773
その他	32,394	25,903
営業外費用合計	114,284	380,199
経常利益	15,012,711	15,975,421
特別利益		
投資有価証券売却益	387,113	464,927
固定資産売却益	-	16,229
資産除去債務履行差額	-	87,050
特別利益合計	387,113	568,207
特別損失		
投資有価証券売却損	15,828	57,011
投資有価証券評価損	104,554	31,651
固定資産除却損	32,791	20,246
固定資産売却損	-	65,427
減損損失	315,350	-
企業結合関連費用	-	1,187,136
特別損失合計	468,524	1,361,473
税引前当期純利益	14,931,300	15,182,154
法人税、住民税及び事業税	4,860,444	4,542,085
法人税等調整額	271,471	102,468
法人税等合計	4,588,973	4,644,553
当期純利益	10,342,327	10,537,601

(3) 【株主資本等変動計算書】

第38期(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712
当期変動額				
剩余金の配当				
当期純利益				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計				
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712

利益剰余金

	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	株主資本合計
		別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	342,589	6,998,000	29,000,498	36,341,088	83,073,932
当期変動額					
剩余金の配当			6,075,125	6,075,125	6,075,125
当期純利益			10,342,327	10,342,327	10,342,327
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計			4,267,201	4,267,201	4,267,201
当期末残高	342,589	6,998,000	33,267,700	40,608,289	87,341,133

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,626,775	1,626,775	84,700,707
当期変動額			
剩余金の配当			6,075,125
当期純利益			10,342,327
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	954,495	954,495	954,495
当期変動額合計	954,495	954,495	3,312,705
当期末残高	672,279	672,279	88,013,413

第39期(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712
当期変動額				
企業結合による増加				
剩余金の配当				
当期純利益				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計				
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712

	利益剰余金				株主資本合計	
	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
		別途 積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	342,589	6,998,000	33,267,700	40,608,289	87,341,133	
当期変動額						

企業結合による増加			1,602,526	1,602,526	1,602,526
剰余金の配当			5,171,039	5,171,039	5,171,039
当期純利益			10,537,601	10,537,601	10,537,601
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			6,969,087	6,969,087	6,969,087
当期末残高	342,589	6,998,000	40,236,787	47,577,377	94,310,221

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	672,279	672,279	88,013,413
当期変動額			
企業結合による増加			1,602,526
剰余金の配当			5,171,039
当期純利益			10,537,601
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,265,319	1,265,319	1,265,319
当期変動額合計	1,265,319	1,265,319	8,234,406
当期末残高	1,937,598	1,937,598	96,247,820

[注記事項]

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

3. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産及び投資不動産

定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 5年～50年

器具備品 2年～20年

投資不動産 3年～50年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理し

ております。

## 5.引当金の計上基準

### (1)貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

### (2)賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

### (3)役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

### (4)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

#### 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

#### 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

### (5)役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

### (6)時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

## 6.収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主要な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

### (1)委託者報酬

投資信託の信託約款に基づき信託財産の運用指図等を行っております。委託者報酬は、純資産総額に一定の報酬率を乗じて日々計算され、確定した報酬を投資信託によって主に年2回受領しております。当該報酬は投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。

### (2)投資顧問料

顧客との投資一任及び投資助言契約に基づき運用及び助言を行っております。投資顧問料は、純資産総額に一定の報酬率を乗じて計算され、確定した報酬を主に年4回受領しております。当該報酬は契約期間にわたり収益として認識しております。

## 7.その他財務諸表作成のための基礎となる事項

#### グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。

### （貸借対照表関係）

#### 1.有形固定資産及び投資不動産の減価償却累計額

	第38期 (2023年3月31日現在)	第39期 (2024年3月31日現在)
建物	1,006,606千円	498,805千円
器具備品	1,985,072千円	1,643,689千円
投資不動産	163,978千円	211,090千円

#### 2.関係会社に対する主な資産・負債

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第38期 (2023年3月31日現在)	第39期 (2024年3月31日現在)
預金	40,165,058千円	39,776,992千円
未収収益	15,046千円	12,312千円
未払手数料	790,279千円	886,173千円

その他未払金	77,007千円	105,407千円
未払費用	277,358千円	599,493千円

(損益計算書関係)

1. 固定資産売却益の内訳

	第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
器具備品	-	16,229千円
計	-	16,229千円

2. 固定資産売却損の内訳

	第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
器具備品	-	65,427千円
計	-	65,427千円

3. 固定資産除却損の内訳

	第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
建物	1,047千円	15,825千円
器具備品	29,762千円	3,986千円
ソフトウェア	1,981千円	434千円
計	32,791千円	20,246千円

4. 関係会社に対する主な取引

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
支払手数料	4,893,312千円	5,006,309千円
受取利息	10,236千円	12,747千円
受取賃貸料	68,168千円	152,876千円
法人税、住民税及び事業税	3,947,200千円	132,303千円

5. 減損損失

第38期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

当社は、以下のとおり減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	金額
東京都千代田区（本社）	ホームページ	ソフトウェア	315,350千円

当社は資産運用業の単一セグメントであるため、事業用資産に区別はなく、全社を1つのグルーピングとしてあります。

ホームページのリニューアルに伴い、現行のホームページについて将来の利用終了が見込まれるため帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、回収可能価額として使用価値を用いておりますが、割引率については使用見込期間が短いため考慮していません。

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

当事業年度については、該当事項はありません。

## 6.企業結合関連費用

第38期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）  
前事業年度については、該当事項はありません。

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）  
企業結合に伴うものであり、主にシステム統合費用などあります。

## （株主資本等変動計算書関係）

第38期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

### 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当事業年度増加 株式数 (株)	当事業年度減少 株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

### 2. 配当に関する事項

#### （1）配当金支払額

2022年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	6,075,125千円
1株当たり配当額	28,713円
基準日	2022年3月31日
効力発生日	2022年6月29日

#### （2）基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2023年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	5,171,039千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	24,440円
基準日	2023年3月31日
効力発生日	2023年6月29日

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

### 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当事業年度増加 株式数 (株)	当事業年度減少 株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

### 2. 配当に関する事項

#### （1）配当金支払額

2023年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	5,171,039千円
1株当たり配当額	24,440円
基準日	2023年3月31日
効力発生日	2023年6月29日

#### （2）基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2024年6月26日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

配当金の総額	45,747,620千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	216,218円

基準日 2024年3月31日  
効力発生日 2024年6月27日

(リース取引関係)

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

	第38期 (2023年3月31日現在)	第39期 (2024年3月31日現在)
1年内	962,809千円	681,212千円
1年超	1,532,728千円	851,515千円
合計	2,495,537千円	1,532,728千円

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金、金銭の信託（合同運用指定金銭信託）で運用し、金融機関からの資金調達は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は主として投資信託であり、価格変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

内部管理規程に従って月次でリスク資本を認識し、経営会議に報告しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、市場価格のない株式等は、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

第38期(2023年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 有価証券	1,579,691	1,579,691	-
(2) 金銭の信託	10,400,000	10,400,000	-
(3) 投資有価証券	12,022,365	12,022,365	-
資産計	24,002,056	24,002,056	-

(注1) 「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未払手数料」については短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注2) 市場価格のない株式等

関連会社株式（前事業年度の貸借対照表計上額 159,536千円）は、市場価格がないため、記載していません。

(注3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

(注4) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第38期(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	51,733,041	-	-	-
金銭の信託	10,400,000	-	-	-
未収委託者報酬	16,753,855	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	1,579,691	4,859,714	1,433,213	-
合計	80,466,587	4,859,714	1,433,213	-

第39期(2024年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 有価証券	15,283	15,283	-
(2) 金銭の信託	10,500,500	10,500,500	-
(3) 投資有価証券	13,788,071	13,788,071	-
資産計	24,303,855	24,303,855	-

(注1) 「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未払手数料」については短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注2) 市場価格のない株式等

関連会社株式(当事業年度の貸借対照表計上額159,536千円)は、市場価格がないため、記載しておりません。

(注3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

(注4) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第39期(2024年3月31日現在)

(単位:千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	58,206,340	-	-	-
金銭の信託	10,500,500	-	-	-
未収委託者報酬	21,064,747	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	15,283	5,351,373	347,505	11,696
合計	89,786,871	5,351,373	347,505	11,696

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価: 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価: 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価: 観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

第38期(2023年3月31日現在)

区分	時価(千円)			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券	-	1,579,691	-	1,579,691
金銭の信託	-	10,400,000	-	10,400,000
投資有価証券	1,794,704	10,227,661	-	12,022,365
資産計	1,794,704	22,207,352	-	24,002,056

(注) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

有価証券及び投資有価証券

ETF(上場投資信託)は相場価格を用いて評価しております。ETFは活発な市場で取引されてい

るため、レベル1の時価に分類しております。

ETF（上場投資信託）以外の投資信託は基準価額を用いて評価しております。基準価額は観察可能なインプットを用いて算出しているため、レベル2の時価に分類しております。

金銭の信託

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しており、レベル2の時価に分類しております。

第39期(2024年3月31日現在)

区分	時価(千円)			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券	-	15,283	-	15,283
金銭の信託	-	10,500,500	-	10,500,500
投資有価証券	2,014,968	11,773,103	-	13,788,071
資産計	2,014,968	22,288,887	-	24,303,855

(注) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

有価証券及び投資有価証券

ETF（上場投資信託）は相場価格を用いて評価しております。ETFは活発な市場で取引されているため、レベル1の時価に分類しております。

ETF（上場投資信託）以外の投資信託は基準価額を用いて評価しております。基準価額は観察可能なインプットを用いて算出しているため、レベル2の時価に分類しております。

金銭の信託

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しており、レベル2の時価に分類しております。

(有価証券関係)

## 1. 子会社株式及び関連会社株式

第38期(2023年3月31日現在)及び第39期(2024年3月31日現在)

関連会社株式(貸借対照表計上額は159,536千円)は、市場価格がないため、記載しておりません。

## 2. その他有価証券

第38期(2023年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	8,983,713	7,558,314	1,425,399
	小計	8,983,713	7,558,314	1,425,399
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	15,018,343	15,474,760	456,417
	小計	15,018,343	15,474,760	456,417
合計		24,002,056	23,033,074	968,982

(注)「その他」には、貸借対照表の「金銭の信託」(貸借対照表計上額は10,400,000千円、取得原価は10,400,000千円)を含めております。

第39期(2024年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	17,364,277	14,269,984	3,094,293
	小計	17,364,277	14,269,984	3,094,293

貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	6,939,577	7,241,136	301,559
	小計	6,939,577	7,241,136	301,559
合計		24,303,855	21,511,121	2,792,733

(注)「その他」には、貸借対照表の「金銭の信託」（貸借対照表計上額は10,500,500千円、取得原価は10,500,000千円）を含めてあります。

### 3. 売却したその他有価証券

第38期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

種類	売却額（千円）	売却益の合計額（千円）	売却損の合計額（千円）
株式	17,240	-	14,120
債券	-	-	-
その他	1,551,405	387,113	1,708
合計	1,568,645	387,113	15,828

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

種類	売却額（千円）	売却益の合計額（千円）	売却損の合計額（千円）
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	3,750,272	464,927	57,011
合計	3,750,272	464,927	57,011

### 4. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、有価証券について104,554千円（その他有価証券のその他104,554千円）減損処理を行っております。

当事業年度において、有価証券について31,651千円（その他有価証券のその他31,651千円）減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

### （退職給付関係）

#### 1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度（積立型制度）及び退職一時金制度（非積立型制度）を設けております。また確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

#### 2. 確定給付制度

##### (1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	第38期		第39期	
	(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
	千円	千円	千円	千円
退職給付債務の期首残高	3,723,521	千円	3,582,778	千円
勤務費用	196,190		182,947	
利息費用	25,925		39,626	
数理計算上の差異の 発生額	186,130		79,379	
退職給付の支払額	176,727		300,286	
過去勤務費用の発生額	-		-	
企業結合による影響額	-		226,499	
退職給付債務の期末残高	3,582,778		3,652,185	

##### (2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

	第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
年金資産の期首残高	2,583,927 千円	2,425,752 千円
期待運用収益	46,453	43,626
数理計算上の差異の 発生額	103,934	227,699
事業主からの拠出額	-	-
退職給付の支払額	100,694	204,536
年金資産の期末残高	2,425,752	2,492,542

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

	第38期 (2023年3月31日現在)	第39期 (2024年3月31日現在)
積立型制度の 退職給付債務	2,468,195 千円	2,250,427 千円
年金資産	2,425,752	2,492,542
	42,442	242,114
非積立型制度の退職給付債 務	1,114,583	1,401,758
未積立退職給付債務	1,157,025	1,159,643
未認識数理計算上の差異	281,343	558,841
未認識過去勤務費用	223,319	157,957
貸借対照表に計上された負 債と資産の純額	1,215,049	1,560,527
退職給付引当金	1,333,882	1,608,101
前払年金費用	118,832	47,573
貸借対照表に計上された負 債と資産の純額	1,215,049	1,560,527

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

	第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
勤務費用	196,190 千円	182,947 千円
利息費用	25,925	39,626
期待運用収益	46,453	43,626
数理計算上の差異の 費用処理額	6,532	29,581
過去勤務費用の費用処理額	65,361	65,361
退職給付制度の統合に係る 調整額	-	34,505
その他	1,600	2,196
確定給付制度に係る 退職給付費用	236,091	251,429

(注)「その他」は受入出向者に係る出向元への退職給付費用負担額及び退職金です。「退職給付制度の統合に係る調整額」は企業結合関連費用の一部として特別損失に計上しております。

(5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	第38期 (2023年3月31日現在)	第39期 (2024年3月31日現在)
--	------------------------	------------------------

債券	63.6	%	62.0	%
株式	34.2		35.9	
その他	2.2		2.1	
合計	100		100	

#### 長期期待運用收益率の設定方法

年金資産の長期期待運用收益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の收益率を考慮しております。

#### (6)数理計算上の計算基礎に関する事項

##### 主要な数理計算上の計算基礎

	第38期 (2023年3月31日現在)	第39期 (2024年3月31日現在)
割引率	0.066 ~ 1.13%	1.39 ~ 1.41%
長期期待運用收益率	1.5 ~ 1.8%	1.5 ~ 1.8%

#### 3.確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度152,084千円、当事業年度164,524千円であります。

#### (税効果会計関係)

##### 1.繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第38期 (2023年3月31日現在)	第39期 (2024年3月31日現在)
<b>繰延税金資産</b>		
減損損失	499,742千円	389,750千円
投資有価証券評価損	47,876	30,021
未払事業税	169,997	126,161
賞与引当金	260,221	362,002
役員賞与引当金	29,828	33,564
役員退職慰労引当金	23,169	9,218
退職給付引当金	408,434	492,400
減価償却超過額	227,100	199,986
差入保証金	52,869	-
資産除去債務	-	16,900
時効後支払損引当金	77,865	76,657
その他	212,315	227,182
<b>繰延税金資産 小計</b>	<b>2,009,420</b>	<b>1,963,847</b>
<b>評価性引当額</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>繰延税金資産 合計</b>	<b>2,009,420</b>	<b>1,963,847</b>
<b>繰延税金負債</b>		
前払年金費用	36,386	14,567
その他有価証券評価差額金	296,702	855,135
その他	1,199	5,308
<b>繰延税金負債 合計</b>	<b>334,288</b>	<b>875,010</b>
<b>繰延税金資産の純額</b>	<b>1,675,132</b>	<b>1,088,836</b>

##### 2.法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

第38期(2023年3月31日現在)及び第39期(2024年3月31日現在)

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

### 3. 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、グループ通算制度を適用しております。また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号2021年8月12日）に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

#### （企業結合等関係）

当社は、2023年7月31日開催の取締役会において、三菱UFJ不動産投資顧問株式会社（旧商号：MU投資顧問株式会社）と吸收分割契約を締結することを決議し、同日、吸收分割の効力発生日を2023年10月1日とする吸收分割契約を締結いたしました。本吸收分割契約に基づき、当社と三菱UFJ不動産投資顧問株式会社は、2023年10月1日付で吸收分割を実施いたしました。

なお、2023年10月1日付で当社は「三菱UFJアセットマネジメント株式会社」へ商号変更しました。

#### 1. 取引の概要

##### （1）被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 三菱UFJ不動産投資顧問株式会社  
事業の内容 投資顧問業、私募投資信託の設定・運用等

##### （2）企業結合日

2023年10月1日

##### （3）企業結合の法的形式

当社と兄弟会社である三菱UFJ不動産投資顧問株式会社を吸收分割会社、当社を吸收分割承継会社とする無対価吸收分割

##### （4）結合後企業の名称

分割会社：三菱UFJ不動産投資顧問株式会社  
承継会社：三菱UFJアセットマネジメント株式会社

##### （5）企業結合を行った主な理由

法人投資家の運用ニーズが拡大しており、両社で取り組みを強化している法人投資家ビジネスにかかる運用・営業等の関連機能を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に統合することで、リソースやノウハウの集約を通じた運用機能等の強化を図ってまいります。

#### 2. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準（企業会計基準第21号2019年1月16日）」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針（企業会計基準適用指針第10号2019年1月16日）」に基づき、共通支配下の取引として処理いたしました。

#### （資産除去債務関係）

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

##### 1. 当該資産除去債務の概要

建物の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

##### 2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を取得から15年と見積り、割引率は1.1%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

##### 3. 当該資産除去債務の総額の増減

	第38期 (2023年3月31日現在)	第39期 (2024年3月31日現在)
期首残高	-	-
有形固定資産の取得に伴う増加	-	1,420,750千円
時の経過による調整額	-	7,835千円
期末残高	-	1,428,586千円

#### （収益認識関係）

##### 1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

収益及び契約から生じるキャッシュ・フローの性質、金額、時期及び不確実性に影響を及ぼす主要な要因に基づく区分に当該収益を分解した情報については、重要性が乏しいため記載を省略しております。

##### 2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、「(重要な会計方針)の6.収益および費用の計上基準」に記載のとおりであります。

3.顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から翌事業年度以降に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

#### (セグメント情報等)

##### [セグメント情報]

第38期(自2022年4月1日至2023年3月31日)及び第39期(自2023年4月1日至2024年3月31日)

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

##### [関連情報]

第38期(自2022年4月1日至2023年3月31日)及び第39期(自2023年4月1日至2024年3月31日)

##### 1.製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

##### 2.地域ごとの情報

###### (1) 営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

###### (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

##### 3.主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

##### [報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

##### [報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

##### [報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

#### (関連当事者情報)

##### 1.関連当事者との取引

###### (1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

第38期(自2022年4月1日至2023年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注5)	科目	期末残高(注5)
親会社	株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ	東京都千代田区	2,141,513百万円	銀行持株会社業	被所有間接100.0%	連結納税等	連結納税等に伴う支払(注1)	3,947,200千円	その他未払金	77,007千円
親会社	株式会社三菱UFJ信託銀行	東京都千代田区	324,279百万円	信託業、銀行業	被所有直接100.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行手数料の支払等	投資信託に係る事務代行手数料の支払(注2)	4,893,312千円	未払手数料	790,279千円
						投資の助言	投資助言料(注3)	463,416千円	未払費用	253,093千円
						役員の兼任				

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注5)	科目	期末残高(注5)
親会社	株三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 間接 100.0%	グループ通算制 度	グループ通算 制度に伴う通 算税効果額 (注4)	132,303 千円	その他未払金	105,407 千円
親会社	三菱UFJ 信託銀行株	東京都 千代田 区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 100.0%	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等  投資の助言 役員の兼任	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)  投資助言料 (注3)	5,006,309 千円  463,831 千円	未払手数料  未払費用	886,173 千円  260,800 千円

取引条件及び取引条件の決定方針等

- （注）1. 連結納税制度及びグループ通算制度に基づく法人税の支払予定額であります。  
 2. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。  
 3. 投資助言料については、市場実勢を勘案して決定しております。  
 4. グループ通算制度に基づく通算税効果額であります。  
 5. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

(2)財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

第38期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注2)	科目	期末残高(注2)
同一の親会社を持つ会社	株三菱UFJ 銀行	東京都 千代田 区	1,711,958 百万円	銀行業	なし	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注1)	4,052,979 千円	未払手数料	868,785 千円
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ モルガン・ スタンレー 証券株	東京都 千代田 区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注1)	6,661,991 千円	未払手数料	1,218,051 千円

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注2)	科目	期末残高(注2)
----	--------	-----	-----	-------	----------------	-----------	-------	----------	----	----------

同一の親会社を持つ会社	株三菱UFJ銀行	東京都千代田区	1,711,958百万円	銀行業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払(注1)	4,354,007千円	未払手数料	1,028,586千円
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株	東京都千代田区	40,500百万円	証券業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払(注1)	7,493,449千円	未払手数料	1,449,414千円

#### 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。
2. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

#### 2. 親会社に関する注記

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(東京証券取引所、名古屋証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場)

三菱UFJ信託銀行株式会社(非上場)

#### (1株当たり情報)

		第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額		415,979.76円	454,898.22円
1株当たり当期純利益金額		48,881.17円	49,804.10円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

		第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益金額(千円)		10,342,327	10,537,601
普通株主に帰属しない金額(千円)		-	-
普通株式に係る当期純利益金額(千円)		10,342,327	10,537,601
普通株式の期中平均株式数(株)		211,581	211,581

#### 中間財務諸表

##### (1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

第40期中間会計期間  
(2024年9月30日現在)

(資産の部)  
流動資産

現金及び預金	28,443
有価証券	7
前払費用	812
未収入金	145
未収委託者報酬	23,384
未収収益	1,003
金銭の信託	1,999
その他	324
流動資産合計	56,120

## 固定資産

有形固定資産	
建物	2,853
器具備品	1,306
土地	628
建設仮勘定	193
有形固定資産合計	4,981
無形固定資産	
ソフトウェア	3,983
ソフトウェア仮勘定	1,356
無形固定資産合計	5,340
投資その他の資産	
投資有価証券	12,099
関係会社株式	159
投資不動産	1,750
長期差入保証金	690
前払年金費用	14
繰延税金資産	1,692
その他	45
貸倒引当金	23
投資その他の資産合計	16,428
固定資産合計	26,750
資産合計	82,871

(単位：百万円)

第40期中間会計期間

(2024年9月30日現在)

## (負債の部)

流動負債	
預り金	943
未払金	
未払収益分配金	114
未払償還金	151
未払手数料	8,340
その他未払金	679
未払費用	8,675
未払消費税等	845
未払法人税等	2,907
賞与引当金	1,176
役員賞与引当金	115
その他	9
流動負債合計	23,958

## 固定負債

退職給付引当金	1,644
---------	-------

役員退職慰労引当金	25
時効後支払損引当金	249
資産除去債務	1,436
その他	29
固定負債合計	3,384
負債合計	27,343

## (純資産の部)

株主資本	
資本金	2,000
資本剰余金	
資本準備金	3,572
その他資本剰余金	41,160
資本剰余金合計	44,732
利益剰余金	
利益準備金	342
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	6,910
利益剰余金合計	7,253
株主資本合計	53,986

(単位：百万円)

第40期中間会計期間  
(2024年9月30日現在)

評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	1,542
評価・換算差額等合計	1,542
純資産合計	55,528
負債純資産合計	82,871

## (2)中間損益計算書

(単位：百万円)

第40期中間会計期間  
(自 2024年4月1日  
至 2024年9月30日)

営業収益	
委託者報酬	56,145
投資顧問料	1,713
その他営業収益	2
営業収益合計	57,862
営業費用	
支払手数料	19,522
広告宣伝費	203
公告費	0
調査費	
調査費	2,206
委託調査費	15,946
事務委託費	1,042
営業雑経費	
通信費	80
印刷費	215
協会費	41
諸会費	11
事務機器関連費	1,405
営業費用合計	40,676

一般管理費	
給料	
役員報酬	232
給料・手当	3,459
賞与引当金繰入	1,089
役員賞与引当金繰入	115
福利厚生費	725
交際費	4
旅費交通費	60
租税公課	281
不動産賃借料	325
退職給付費用	189
固定資産減価償却費	1
諸経費	1,218
一般管理費合計	524
営業利益	8,224
	8,960

(単位：百万円)

第40期中間会計期間

(自 2024年4月1日  
至 2024年9月30日)

営業外収益	
受取配当金	49
受取利息	4
投資有価証券償還益	22
収益分配金等時効完成分	3
受取賃貸料	112
その他	3
営業外収益合計	195
営業外費用	
投資有価証券償却損	6
時効後支払損引当金繰入	19
事務過誤費	7
賃貸関連費用	1
その他	94
営業外費用合計	10
経常利益	137
特別利益	9,017
投資有価証券売却益	497
特別利益合計	497
特別損失	
投資有価証券売却損	58
固定資産除却損	18
固定資産売却損	3
減損損失	2
事業譲渡関連損失	1,306
特別損失合計	285
税引前中間純利益	1,672
法人税、住民税及び事業税	7,842
法人税等調整額	2,847
法人税等合計	428
中間純利益	2,418
	5,423

(3)中間株主資本等変動計算書

第40期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

(単位：百万円)

資本金	株主資本			
	資本剰余金			
	資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	
当期首残高	2,000	3,572	41,160	44,732
当中間期変動額				
剰余金の配当				
中間純利益				
別途積立金の取崩				
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)				
当中間期変動額合計				
当中間期末残高	2,000	3,572	41,160	44,732

利益準備金	利益剰余金			株主資本合計	
	その他利益剰余金				
	別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	342	6,998	40,236	47,577	94,310
当中間期変動額					
剰余金の配当			45,747	45,747	45,747
中間純利益			5,423	5,423	5,423
別途積立金の取崩		6,998	6,998		
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計		6,998	33,326	40,324	40,324
当中間期末残高	342		6,910	7,253	53,986

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,937	1,937	96,247
当中間期変動額			
剰余金の配当			45,747
中間純利益			5,423
別途積立金の取崩			
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	395	395	395
当中間期変動額合計	395	395	40,719
当中間期末残高	1,542	1,542	55,528

### [重要な会計方針]

1. 有価証券の評価基準及び評価方法
  - (1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

3. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産及び投資不動産

定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 5年～50年

器具備品 3年～20年

投資不動産 3年～50年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

4. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上しております。

(6) 時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

5. 収益および費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主要な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

(1) 委託者報酬

投資信託の信託約款に基づき信託財産の運用指図等を行っております。委託者報酬は、純資産総額に一定の報酬率を乗じて日々計算され、確定した報酬を投資信託によって主に年2回受領しております。当該報酬は投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。

(2) 投資顧問料

顧客との投資一任及び投資助言契約に基づき運用及び助言を行っております。投資顧問料は、純資産総額に一定の報酬率を乗じて計算され、確定した報酬を主に年4回受領しております。当該報酬は契約期間にわたり収益として認識しております。

6. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

7. その他中間財務諸表作成のための重要な事項

グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。

**[注記事項]**

(中間貸借対照表関係)

1 減価償却累計額

第40期中間会計期間 (2024年9月30日現在)	
建物	590百万円
器具備品	1,894百万円
投資不動産	249百万円

2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。

(中間損益計算書関係)

1 減価償却実施額

第40期中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	
有形固定資産	331百万円
無形固定資産	886百万円
投資不動産	38百万円

2 減損損失

当社は、以下のとおり減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	金額
東京都港区(本社)	インターネット直販サービス	ソフトウェア	1,306百万円

当社は資産運用業の単一セグメントであるため、事業用資産に区別はなく、全社を1つのグルーピングとしております。

現行のソフトウェアについて将来の利用終了が見込まれるため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、回収可能価額として使用価値を用いておりますが、割引率については使用見込期間が短いため考慮しておりません。

(中間株主資本等変動計算書関係)

第40期中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数(株)	当中間会計期間 増加株式数(株)	当中間会計期間 減少株式数(株)	当中間会計期間末 株式数(株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

## 2. 配当に関する事項

2024年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	45,747百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	216,218円
基準日	2024年3月31日
効力発生日	2024年6月27日

### (リース取引関係)

第40期中間会計期間(2024年9月30日現在)

#### 借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

1年内	681百万円
1年超	510百万円
合計	1,192百万円

### (金融商品関係)

第40期中間会計期間(2024年9月30日現在)

#### 1. 金融商品の時価等に関する事項

2024年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、市場価格のない株式等は、次表には含まれておりません(注2)参照)。

	中間貸借対照表 計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
(1) 有価証券	7	7	-
(2) 金銭の信託	1,999	1,999	-
(3) 投資有価証券	12,099	12,099	-
資産計	14,106	14,106	-

(注1)「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未払手数料」については短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注2)市場価格のない株式等

関連会社株式(中間貸借対照表計上額 159百万円)は、市場価格がないため、記載しておりません。

(注3)金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

#### 2. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットが

それぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

#### 時価をもって中間貸借対照表計上額とする金融資産

区分	時価(百万円)			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券	-	7	-	7
金銭の信託	-	1,999	-	1,999
投資有価証券	2,686	9,412	-	12,099
資産計	2,686	11,419	-	14,106

(注) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

#### 有価証券及び投資有価証券

ETF(上場投資信託)は相場価格を用いて評価しております。ETFは活発な市場で取引されているため、レベル1の時価に分類しております。

ETF(上場投資信託)以外の投資信託は基準価額を用いて評価しております。基準価額は観察可能なインプットを用いて算出しているため、レベル2の時価に分類しております。

#### 金銭の信託

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しており、レベル2の時価に分類しております。

#### (有価証券関係)

第40期中間会計期間(2024年9月30日現在)

##### 1. 子会社及び関連会社株式

関連会社株式(中間貸借対照表計上額 159百万円)は、市場価格がないため、記載しておりません。

##### 2. その他有価証券

	種類	中間貸借対照表 計上額(百万円)	取得原価 (百万円)	差額(百万円)
中間貸借対照表 計上額が取得原価を 超えるもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	10,113	7,534	2,578
	小計	10,113	7,534	2,578
中間貸借対照表 計上額が取得原価を 超えないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	3,993	4,349	355
	小計	3,993	4,349	355
合計		14,106	11,883	2,222

(注)「その他」には、中間貸借対照表の「金銭の信託」(中間貸借対照表計上額1,999百万円、取得価額2,000百万円)を含めております。

#### (資産除去債務関係)

資産除去債務のうち中間貸借対照表に計上しているもの

当該資産除去債務の総額の増減

第40期中間会計期間

(自 2024年4月1日)

至 2024年9月30日)

期首残高	1,428百万円
有形固定資産の取得に伴う増加	-
時の経過による調整額	7百万円
中間期末残高	1,436百万円

#### (収益認識関係)

### 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

収益及び契約から生じるキャッシュ・フローの性質、金額、時期及び不確実性に影響を及ぼす主要な要因に基づく区分に当該収益を分解した情報については、重要性が乏しいため記載を省略しております。

### （セグメント情報等）

#### [セグメント情報]

第40期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

#### [関連情報]

第40期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

#### 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

#### 2. 地域ごとの情報

##### （1）営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

##### （2）有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

#### 3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

#### （1株当たり情報）

1株当たり純資産額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

第40期中間会計期間 (2024年9月30日現在)	
1株当たり純資産額 (算定上の基礎)	262,445.12円
純資産の部の合計額（百万円）	55,528
普通株式に係る中間期末の純資産額（百万円）	55,528
1株当たり純資産額の算定に用いられた 中間期末の普通株式の数（株）	211,581

1株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

第40期中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	
1株当たり中間純利益金額 (算定上の基礎)	25,633.62円
中間純利益金額（百万円）	5,423
普通株主に帰属しない金額（百万円）	-
普通株式に係る中間純利益金額（百万円）	5,423
普通株式の期中平均株式数（株）	211,581

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

## 第2【その他の関係法人の概況】

### 1【名称、資本金の額及び事業の内容】

<更新後>

#### （1）受託会社

名称：三井住友信託銀行株式会社  
(再信託受託会社：株式会社日本カストディ銀行)  
資本金の額：342,037百万円（2024年9月末現在）  
事業の内容：銀行業務および信託業務を営んでいます。

（2）販売会社

名称	資本金の額 (2024年9月末現在)	事業の内容
PayPay銀行株式会社	72,216 百万円	銀行業務を営んでいます。
株式会社千葉興業銀行	62,120 百万円	銀行業務を営んでいます。
株式会社第四北越銀行	32,776 百万円	銀行業務を営んでいます。
株式会社沖縄銀行	22,725 百万円	銀行業務を営んでいます。
株式会社あいち銀行	18,000 百万円	銀行業務を営んでいます。
株式会社長崎銀行	7,621 百万円	銀行業務を営んでいます。
アーク証券株式会社	2,619 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
アイザワ証券株式会社	3,000 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
三菱UFJ eスマート証券株式会社	7,196 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
どちぎんTT証券株式会社	1,001 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
株式会社SBI証券	54,323 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
岡三証券株式会社	5,000 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
おきぎん証券株式会社	850 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
光世証券株式会社	12,000 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
篠山証券株式会社	100 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
新大垣証券株式会社	175 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
GMOクリック証券株式会社	4,346 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
十六TT証券株式会社	3,000 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
大和証券株式会社	100,000 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
楽天証券株式会社	19,495 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
東海東京証券株式会社	6,000 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
内藤証券株式会社	3,002 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
南都まほろば証券株式会社	3,000 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
マネックス証券株式会社	13,195 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
広田証券株式会社	600 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
松井証券株式会社	11,945 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
ワイエム証券株式会社	1,270 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

3【資本関係】

<訂正前>

該当ありません。（2024年9月末現在）

（注）関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株

比率が3%以上のものを記載しています。

<訂正後>

該当ありません。（2025年3月末現在）

（注）関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

## 独立監査人の監査報告書

2025年5月14日

三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
取締役会御中

PwC Japan有限責任監査法人  
東京事務所  
指定有限責任社員 公認会計士 久保 直毅  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 西郷 篤  
業務執行社員

### 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている国際インド債券オープン（毎月決算型）の2024年9月11日から2025年3月10日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、国際インド債券オープン（毎月決算型）の2025年3月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、三菱UFJアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

三菱UFJアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

## 独立監査人の監査報告書

2024年6月7日

三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
取締役会御中

有限責任監査法人トーマツ  
東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行  
行社員

公認会計士 山田信之

指定有限責任社員  
業務執行  
行社員

公認会計士 田嶋大士

### 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJアセットマネジメント株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの第39期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱UFJアセットマネジメント株式会社の2024年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

### 財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。  
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の中間監査報告書

2024年12月3日

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

取締役会御中

有限責任監査法人トーマツ  
東京事務所

指定有限責任社員  
行社員 業務執  
公認会計士 鶴見将史

指定有限責任社員  
行社員 業務執  
公認会計士 田嶋大士

### 中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJアセットマネジメント株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの第40期事業年度の中間会計期間（2024年4月1日から2024年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJアセットマネジメント株式会社の2024年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

### 中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 中間財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

（注）1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。  
2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。